J

デジタル無線伝送システム搭載　防水液晶テレビ

XF-1000

取扱説明書

保証書別添

この取扱説明書は、お読みになった後も大切に保管してください。

このセットは国内専用です。海外では放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。
This TV is tuned to receive channels in Japan. It cannot receive channels outside Japan that use different broadcast systems or frequencies.

K0084-01-02

安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

	△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています(左の例は感電注意)。
	⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な禁止内容です(左の例は分解禁止)。
	●記号は「しなければならないこと」を意味しています。この記号の中の表示は具体的な指示内容です(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

⚠警告

電波について

● 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では絶対に使用しないでください。電子機器や医用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

● 高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

・ ペースメーカー、その他医用電気機器を使用されている方は、医師または医用電気機器メーカーにご相談ください。

落とさない、ぶつけない

● 本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 主電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時はプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

煙、臭い、発熱などの異常について

● 煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 主電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時はプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

落雷について

● 雷が鳴りだしたら、本機、アンテナ線、ACアダプターの差し込みプラグには触れないでください。感電の原因となります。

分解・改造しない

● 本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。

● 内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。

⚠警告

火中に投入しない

● 本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

水の中に入れない

● 水中で使用すると感電の原因となります。また、水中に落ちるおそれのある場所に置かないでください。水中に落としたまま放置すると感電の原因となります。

水や金属が入らないように

● 水、液体、異物(金属片など)が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 主電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時はプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

・ 雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

● 本機やACアダプターの上に花瓶などの液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

水まわりで使用するとき

● 風呂、シャワー室など水まわりでご使用の際は、必ず内蔵充電池を使用してください。充電スタンドをご使用になると感電の原因となります。

● 防水リモコンの電池フタを確実にロックしてください。火災や感電の原因となります。

湿気の多い場所に放置しない

● 風呂やシャワー室など、湿気の多い場所には長い時間放置しないでください。火災や感電の原因となります。

電池の取り替え

● 防水リモコンの電池フタの開閉時に、水や雨が入らないようにしてください。火災や感電の原因となります。

電池について

● 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

・ 分解しない、ショートさせない
・ 加熱しない、火の中に投入しない
・ 充電池以外の電池は充電しない
・ 極性(+ と − の向き)に注意して正しく入れる

防水リモコンのボタン電池、電池フタの取り扱いについて

● 防水リモコンに使用しているボタン電池や、防水リモコンの電池フタを取り外した場合、お子様があやまって飲むことがないように、手の届かないところへおいてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

ACアダプターについて

● ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

・ 必ず本機指定品を使用する
・ 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
・ 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない
・ プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように清掃する

● ACアダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

・ 重いものを乗せたり、加熱しない
・ 加工したり、無理に曲げない
・ ねじったり、引っ張ったりしない
・ 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する

● 濡れた手でACアダプターやプラグに触れないでください。感電の原因となります。

● ACアダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。

電源について

● 指定以外の電源は使わないでください。故障や火災などの原因となります。

● 電源コードをＡＣアダプター本体に巻きつけたりしないでください。傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

⚠注意

置き場所について

● 本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- ほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
- じゅうたんや布団の上

不安定な場所に置かない

● ぐらついた台の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

● 壁掛け用スタンドに防水モニターを取り付ける時には、「防水モニターを取り付けるには」(P55)をご覧になり防水モニターが正しく取り付けられていることを確認してください。取り付けを誤ると防水モニターが落下して故障したり、けがの原因となることがあります。

取り扱いについて

● 本機を移動させる場合は、ACアダプターおよび接続したコードを、すべて外してください。火災や感電の原因となることがあります。

● 防水モニターを移動する場合には、スタンドではなく防水モニターのキャリングハンドルを持ってください。スタンドを持って移動すると壊れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

● 防水モニターやテレビチューナーなどの上に重いものを置いたり、上に乗ったりしないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様などには注意してください。

● 防水モニターのスタンドやキャリングハンドルをご使用の際は、十分注意してください。手や指などをはさまれて、けがの原因となることがあります。

通風口をふさがない

● 通風口をふさがないようにしてください。通風口をふさぐと、本機内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

充電について

● 防水モニターは、必ずお子様の手の届かない場所で充電してください。充電スタンドに載せた防水モニターが転倒してけがをする恐れがあります。

ACアダプターについて

● ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く

電池について

● 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときには、防水モニターの主電源スイッチを切り、防水リモコンの電池を取り出してください

表示画面について

● 表示画面の液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。

● 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。

- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

長時間ふれない

● ひざの上に置くなど、本機が体に長時間ふれるような使い方はしないでください。低温やけどの原因となることがあります。

目次

安全上のご注意 2
主な特長 6
電波に関するご注意 7
■圏外 8
ご使用上の注意 8
防水についてのご注意............................. 9
各部の名称 10
■防水モニター 10
■防水リモコン 11
■テレビチューナー 12
■充電スタンド 12
システム図（全体の接続図） 13
同梱品一覧 14
初めてお使いになる方へ...................... 15
■設置と使い方の概要 15
テレビを見るには 17
ビデオ、DVD、CS放送等を見るには . 19
便利な機能を使うには.......................... 21
■呼び出しブザー 21
■輝度切換（節電機能） 21
■ミュート 22
■画面表示 23
■音声切換 24
■カウントダウンタイマー機能 26
設定するには 30
■画質調整 30
■チャンネル設定 32
■リモコンコードの設定 37
■サラウンド切換 48
■キー操作音切換 49
■アラーム音量切換 50
■通信チャンネルの設定 51
接続するには 52
■テレビチューナーの設置 52
■壁掛け用スタンドの設置 53
■充電スタンドの設置 57
■外部機器コントローラーの設置 58
電源の接続について 59
充電するには 60
■充電スタンドを使用する 61
防水モニターの電池持続時間 62
■防水モニターの電池残量表示 62
防水リモコンの電池を入れるには 64
故障とお思いになる前に....................... 65
蛍光管について 71
製品仕様... 71
保証・アフターサービスについて 73

主な特長

■ デジタル無線伝送システムを採用してモニターとテレビチューナーを分離。

■ テレビチューナーの電波が届くところならどこでも、テレビ放送、ビデオ、DVD、CS放送等が視聴できます。＊[1]

■ マンション内など電波の弱い場所でも、良好な受信画像が得られます。＊[2]

■ お風呂や台所もOK。大きな画面の防水(JIS保護等級 6 耐水形相当)モニター。＊[3]
(10V型)

■ 呼び出しブザーで家族に通報。

■ お風呂でも簡単操作、防水リモコン(JIS保護等級 6 耐水形相当)。

■ 他社製品(ビデオデッキ、DVDプレーヤー、CSチューナー等)も、本機の防水リモコンで操作可能。＊[4]
また、他社製品付属のリモコンを使用して、防水モニター側からも他社製品の操作が可能。

■ 高性能TFTアクティブマトリクス方式で、鮮明で美しい画像を映します。

■ ステレオ、音声多重対応。サラウンド機能付(スペシャライザー 3 D回路内蔵により臨場感あふれるサラウンド効果が楽しめます ＊[5])。

■ カウントダウンタイマー機能付(60分まで 1 分単位で設定が可能)。設定した時間が経過するとアラーム音と表示でお知らせします。

■ 外部接続端子2系統(S端子対応)。

■ テレビを見ながら充電可能。

■ リモコンホルダー付き壁掛け用スタンド付属。

＊[1] ビデオやＤＶＤを見るには、市販のビデオデッキやDVDプレーヤーをテレビチューナーに接続する必要があります。また、CS放送を視聴するには、放送局と受信契約を結びCSチューナーをテレビチューナー(本機)に接続してください。

＊[2] 当社製のポータブル液晶テレビ(内蔵アンテナ使用時)との比較。壁面にあるアンテナ端子とテレビチューナーを接続する必要があります。また、防水モニターとテレビチューナーとの位置関係を調整して映りのよい場所を選んでください。

＊[3] 当社製液晶テレビとの比較。

＊[4] ご使用になる外部機器によっては、本機の防水リモコンでは操作できない製品や、特定のボタンが使用できない製品があります。このような場合には、ご使用になる外部機器付属のリモコンを使用してください。(外部機器付属のリモコンは、防水モニターに向けても操作できます。)

＊[5]「スペシャライザー」はデスパー・プロダクツ社とのライセンス契約に基づき製造されています。
Spatializer® 及びシンボル・マークは、デスパー・プロダクツ社の登録商標です。

電波に関するご注意

● 本機は、電波法に基づいて技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。また、本機は日本国内でのみ使用できます。

● 本機は、技術基準適合証明を受けていますので以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

1．分解および改造すること。

2．本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

本機は2.4GHz帯を使用し、変調方式はDS-SS（直接拡散）です。また、想定される与干渉距離は約40mです。

● 本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局が運用されています。

1．本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

2．万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。

3．不明な点がある場合やお困りの場合は、74ページのカシオお客様相談室までお問い合わせください。

● Bluetoothや無線LANは、本機と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。

● 環境により伝送距離が短くなることがあります。

● コードレス電話や携帯電話の近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。

● 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。その結果、映像や音声が途切れたり、ブロック状のノイズがでます。

・ 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く。
・ 鉄筋コンクリート（マンションなど）の建物内。
・ 鉄骨構造の建物内。
・ 木造構造（土塀）の建物内。
・ 大型金属製家具の近く。
・ テレビチューナーと防水モニターの間に人が入ったり、間を人が横切るとき。
・ テレビチューナーと防水モニターが別々の部屋にある場合（障害物がある場合）。

● AV機器のアンテナ端子から離してご使用ください。AV機器にノイズが入ることがあります。

● 電波の性質と強さ

・電波には、障害物があると反射したり屈折したりする性質があります。そのため、テレビチューナーから防水モニターに届く電波には、直接届く直接波と反射して届く反射波があります。

・建物内には、多くの家具、品物、壁がありますので、さまざまな反射波が発生します。この反射波によって、電波状態の良い場所と悪い場所ができます。このため、テレビチューナーや防水モニターを少し動かすと、状況が良くなることがあります。

● 本機は盗聴防止スクランブル機能を搭載していますが、電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることには使用しないでください。

■圏外

圏外表示は電波の状態が悪くなっていることを示すものですが、あくまで目安です。電波の状態によっては、圏外表示が出ていなくても映像がちらつくなど動作が不安定になることがあります。

圏外(黄色) ：電波の状態が良くありません。

圏外(赤色) ：テレビチューナーからの電波が防水モニターに届いていません。

ご使用上の注意

■電源を入れてから画面が出るまで

- 本機の電源を入れてから画面が出るまで、しばらく時間がかかりますが故障ではありません。ご使用の環境によって、かかる時間は異なります。

■反応の遅れについて

- 本機は、映像(音声)を圧縮処理してテレビチューナーから防水モニターに送信し、防水モニターで伸張処理をして映像(音声)を表示しています。

  これにより、防水モニターの映像(音声)は、実際のテレビ放送よりもわずかに遅れています。時報をチェックするときやゲームをするときは、ご注意ください。
- 本機は、ユーザー操作情報を、防水モニターからテレビチューナーに送信、更にテレビチューナーから防水モニターに返信することで動作しています。そのため、操作してから防水モニターの画面が反応するまで、少し時間がかかります。
- 本機の防水リモコンで外部機器を操作する場合、本機の動作時間に外部機器の動作時間がプラスされます。防水リモコンを操作してから防水モニターの画面が反応するまで、時間がかかりますが故障ではありません。

■取り扱い上のご注意

- 防水モニター、防水リモコン以外は防水ではありません。
- お手入れにはベンジンなど化学薬品は使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはがれたりします。汚れのひどいときは柔らかな布を薄い中性洗剤に浸し、固く絞って拭いてください。
- 浴室用洗浄剤が本機にかからないようにしてください。かかった場合には、速やかに洗い流してください。
- 石鹸やシャンプーが付いたときは洗い流してください。
- 5℃より低温、35℃より高温になると充電ができません。また、充電途中で防水モニター内部の温度が高くなると充電が中断しますが、故障ではありません。温度が下がると充電を再開します。
- スピーカー部分に、泥や砂が入らないように注意してください。
- 充電スタンドおよび防水モニターの充電端子部を、乾いた綿棒などでときどき掃除してください。
- テレビチューナー、および充電スタンドの通風口は定期的に点検し、清潔に保ってください。
- 防水モニター、および防水リモコンには熱いお湯(60℃以上)がかからないようにしてください。また、熱いお湯の中に落とした場合、変形等により故障することがあります。
- 圏外表示中は、電源ボタン、音量調節ボタン、ミュートボタン以外は動作しません。

■極端な温度下や日差しの強い場所には放置しないでください

- 窓を閉めきった自動車内、直射日光の当たるところ、暖房器具の近くなどには放置しないでください。本機の変形や、液晶パネルの故障の原因となります。（保存温度範囲：－20℃～＋60℃）
- 0℃より低温、40℃より高温になると映りが悪くなることがありますが故障ではありません。常温に戻ると回復します。（使用温度範囲：0℃ ～ 40℃）

■壁掛け用スタンドの取り付けについて

- 壁掛け用スタンドを固定する際には、あらかじめ本体の電源を入れて、設置する場所で受信できることを確認の上、取り付けてください。

防水についてのご注意

防水モニターおよび防水リモコンは日常生活上の防水（JIS保護等級 6 耐水形相当）が施されており、雨や雪、水しぶきがかかるところでも使える防水仕様となっておりますが、次の点に十分ご注意の上ご使用ください。

（1）水の中には入れないでください。

（2）誤ってお風呂の中に落とした場合は、すぐに拾い上げてください。

（3）多量の雨や水滴がついたときは、乾いた布などで十分に拭き取ってください。

（4）防水リモコンの電池フタを確実に閉めてご使用ください。

（5）防水リモコンの電池フタの開閉は十分に水を拭き取ったあと、水がかからないところで乾いた手で行ってください。万一開閉時に内部に水が入ってしまった場合には、電池を取り出し、お近くのカシオテクノ・サービスステーションにご相談ください。

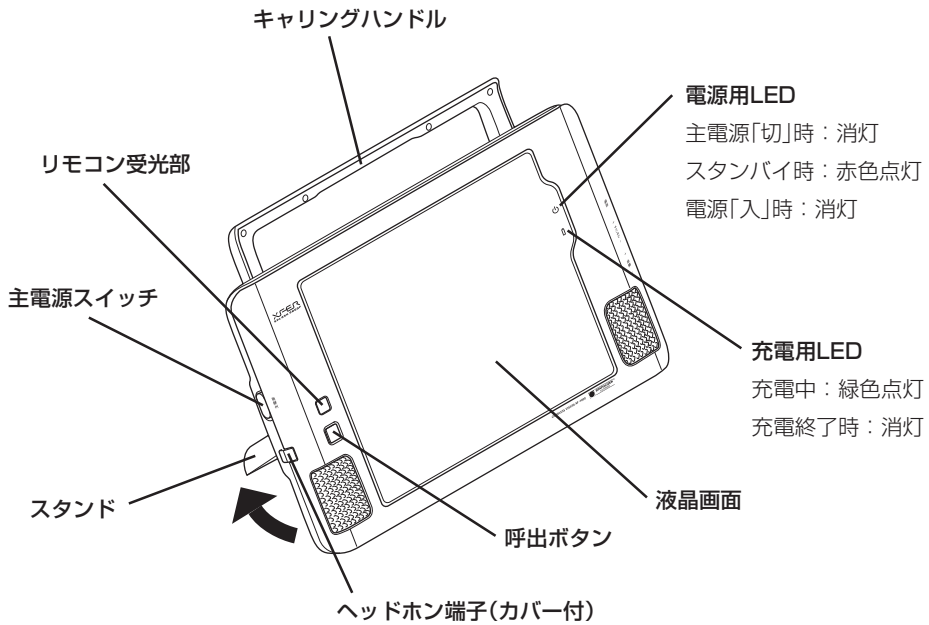
（6）防水リモコンの電池フタを閉じるときに、微細なゴミ（髪の毛や砂粒など）が挟まらないようご注意ください。

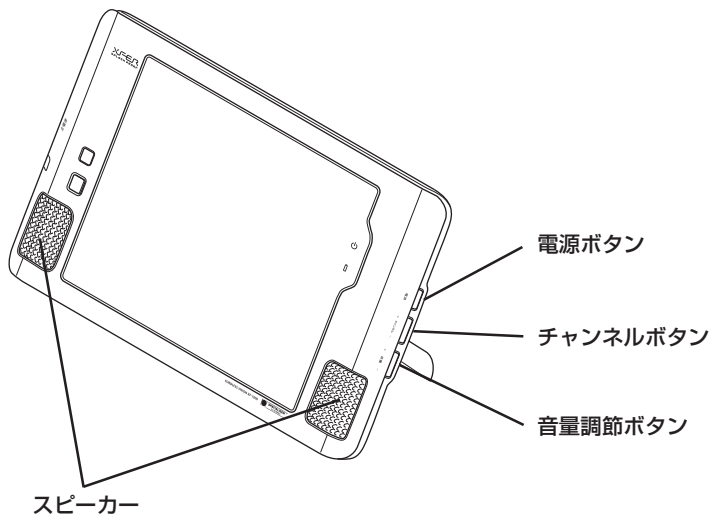
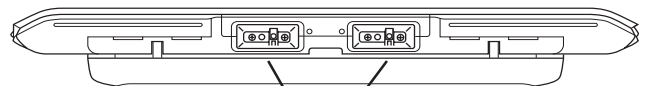
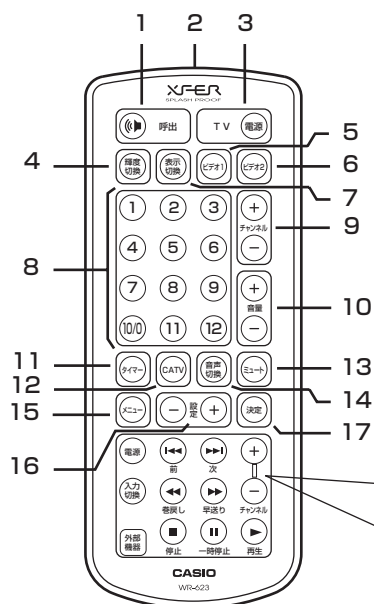
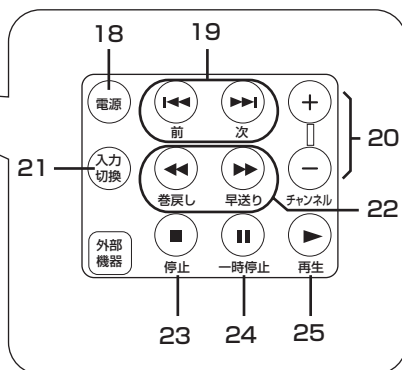
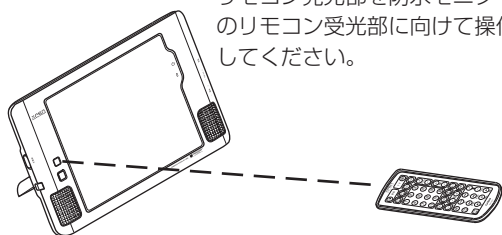
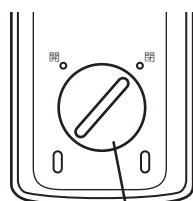
（7）防水リモコンの電池フタまわりのゴムパッキンは、防水機能を維持するための大切な部品ですので、汚れや傷がつかないようにご注意ください。

（8）水まわりでご使用の場合、ヘッドホン端子のカバーは閉めてください。ジャック部に水が侵入しても防水モニターの防水機能は維持できますが、ジャック部に水が溜まった状態でヘッドホンを使用すると、故障の原因となる場合があります。

（9）防水機能を維持するため、定期的（2年に1度）に点検（有償）することをお勧めいたします。

水の中でお使いになったり、防水リモコンの電池フタを開けた状態でお使いになると、水が侵入します。水の侵入による製品の不良については保証期間内でも保証対象外となりますのでご注意ください。

各部の名称

■防水モニター

水まわりでは使用できません。ヘッドホン
端子は乾いた状態にてご使用ください。

■防水リモコン

防水モニター操作用

1　呼出ボタン
2　リモコン発光部
3　電源ボタン
4　輝度切換ボタン
5　ビデオ1ボタン
6　ビデオ2ボタン
7　表示切換ボタン
8　チャンネルボタン(1～12)/テンキー(0～9)
9　チャンネルボタン
10　音量調節ボタン
11　タイマーボタン
12　CATVボタン
13　ミュートボタン
14　音声切換ボタン
15　メニューボタン
16　設定ボタン
17　決定ボタン

外部機器操作用

18　電源ボタン
19　頭出しボタン
20　チャンネルボタン
21　入力切換ボタン
22　巻戻し、早送りボタン
23　停止ボタン
24　一時停止ボタン
25　再生ボタン

● 外部機器*を見ているとき（ビデオ１画面またはビデオ２画面）に、チャンネルの選局操作を（8、9、12＋8を使用）すると、テレビ画面に切り換わります。

＊外部機器

・ 本機の防水リモコンで操作できる､ビデオデッキ､DVD プレーヤー、CS チューナー等

各部の名称

■テレビチューナー

前面

背面

ビデオコントロール端子

外部機器コントローラーを接続します。ビデオ、DVD、CSチューナー等を本機の防水リモコンまたは外部機器側のリモコンで操作することができます。

通風口

音声入力端子1

映像入力端子1

外部アンテナ入力端子

S映像入力端子1

S映像入力端子2

電源入力端子

ACアダプター(AD-K12090)を接続します。

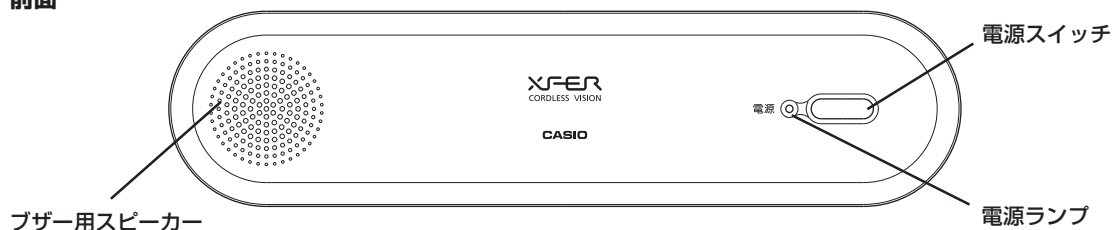
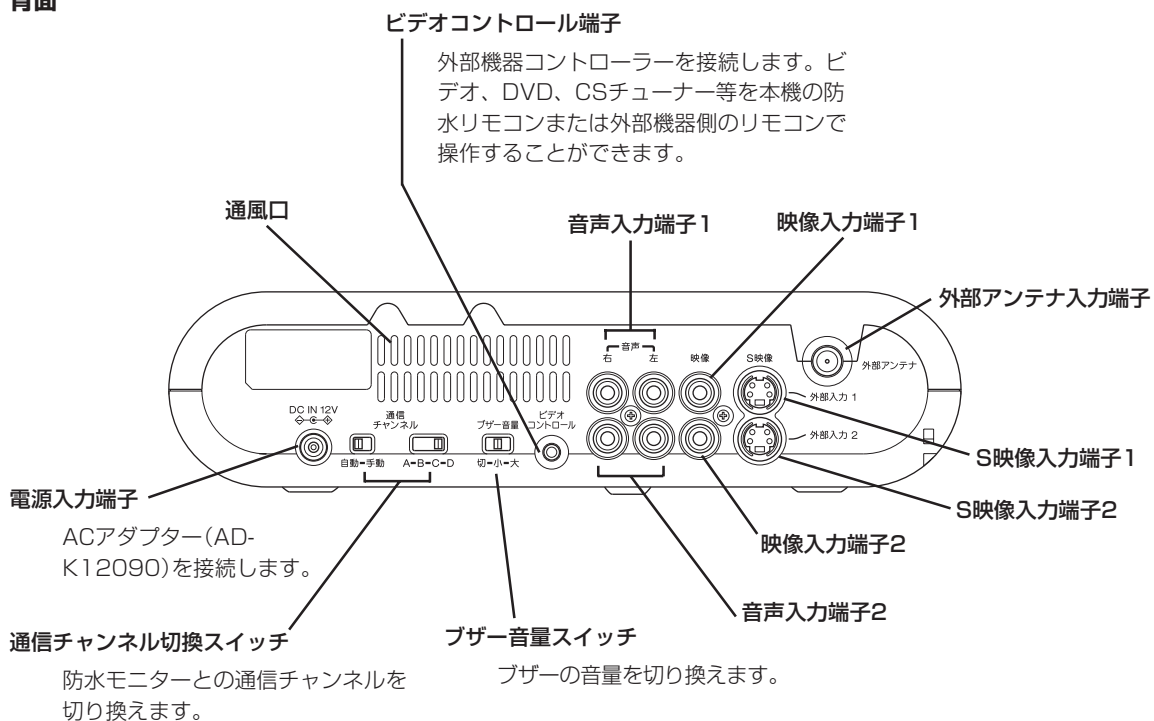
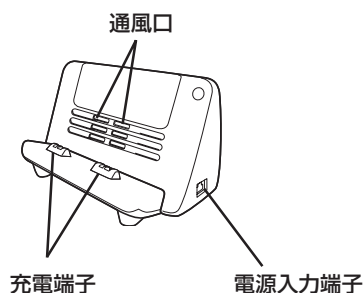
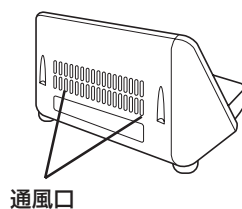
映像入力端子2

音声入力端子2

通信チャンネル切換スイッチ

防水モニターとの通信チャンネルを切り換えます。

ブザー音量スイッチ

ブザーの音量を切り換えます。

■充電スタンド

システム図（全体の接続図）

- テレビチューナーは、付属のRFコードを使用して直接壁面のアンテナ端子へ接続してください。使われていない壁面のアンテナ端子がない場合には、付属のアンテナ2分配プラグをご使用ください。
- テレビチューナーをアンテナ2分配プラグに接続する場合には、出力1（通電）側ではなく、出力2側に接続してください。

同梱品一覧

防水モニター
(XF-1000M)
テレビチューナー
(XF-101TS)
防水リモコン
(WR-623)
充電スタンド(OS-263)
壁掛け用スタンド
両面テープ
ネジ×2
ACアダプター
(AD-K12090)
ACコード
(AD-K1230J専用)
ACアダプター
(AD-K1230J)
外部機器コントローラー
両面テープ×2
RFコード
アンテナ 2 分配プラグ
(DP-72)
リモコン用電池
(CR2032)

初めてお使いになる方へ

● 最初に「安全上のご注意」、「電波に関するご注意」、「ご使用上の注意」、「防水についてのご注意」を必ずお読みください。本機を使用するにあたっては、これらの注意事項を理解されたうえ、正しくお使いください。

■設置と使い方の概要

詳しくは、該当する項目を参照してください。

1 テレビチューナーやスタンドを設置する。

「接続するには」と「システム図（全体の接続図）」を参照して、テレビチューナーやスタンドを設置してください。

☞ 「接続するには」、P52

☞ 「システム図（全体の接続図）」、P13

● ここでは、AC アダプターや AC コードを壁のコンセントに接続しないでください。

2 市販のビデオデッキ、DVDプレーヤー、CSチューナー等を接続する。

「接続するには」と「システム図（全体の接続図）」を参照して接続してください。テレビ放送のみを見る場合には、この項は不要です。

☞ 「接続するには」、P52

☞ 「システム図（全体の接続図）」、P13

● まだ、AC アダプターや AC コードを壁のコンセントに接続しないでください。

3 電源を接続する。

「電源の接続について」を参照して、ACアダプターやACコードを壁のコンセントに接続します。また、防水リモコンの電池も入れてください。

☞ 「電源の接続について」、P59

市販のビデオデッキ、DVDプレーヤー、CSチューナー等を接続した場合には、それらの機器のACアダプターやACコードを壁のコンセントに接続します。

4 テレビチューナーと防水モニターの電源を入れる。

防水モニターの主電源スイッチを入れ、防水モニターを充電スタンドに載せてください。

5 チャンネルを設定する。

「チャンネル設定」を参照して、チャンネルを設定してください。

☞ 「チャンネル設定」、P32

6 リモコンコードを設定する。

「リモコンコードの設定」を参照してコードを設定してください。市販のビデオデッキ、DVDプレーヤー、CSチューナー等を接続しない場合には不要です。

☞ 「リモコンコードの設定」、P37

7 他の設定をする。

必要に応じて他の設定をしてください。

☞ 「画質調整」、P30
☞ 「サラウンド切換」、P48
☞ 「キー操作音切換」、P49
☞ 「アラーム音量切換」、P50
☞ 「通信チャンネルの設定」、P51

8 防水モニターを充電する。

防水モニターの電源(電源ボタン)は切ってください。なお、主電源スイッチは入れたままにしてください。充電には約3.5時間かかります。画面を見ながら充電することもできます。

☞ 「充電するには」、P60

9 テレビチューナーと使用する機器(市販のビデオデッキ、DVDプレーヤー、CSチューナー等)の電源を入れる。

テレビ放送のみを見る場合には、テレビチューナーのみの電源を入れます。

10 充電スタンドから防水モニターをはずして、お好きな場所に移動する。

充電スタンドに載せたまま視聴してもかまいません。

11 「テレビを見るには」、「ビデオ、DVD、CS放送等を見るには」を参照して、お好きな物を視聴する。

☞ 「テレビを見るには」、P17
☞ 「ビデオ、DVD、CS 放送等を見るには」、P19

12 見終わったら防水モニターを充電スタンドに載せて充電する。

13 電源を切る。

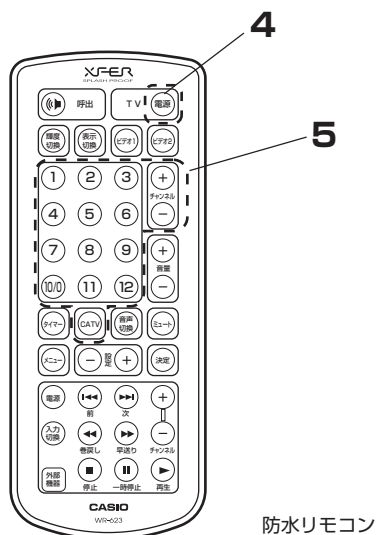
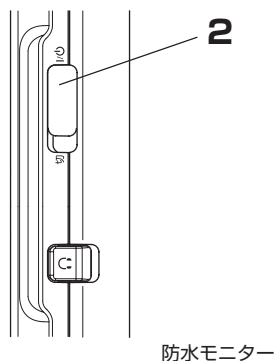
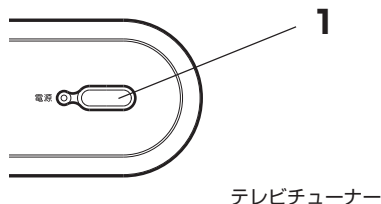
テレビを見るには

※ イラストの番号は、操作手順番号です。

テレビチューナー

防水モニター

防水リモコン

準備

「接続するには」に従って、テレビチューナー、壁掛け用スタンドを設置してください。

見るには

1 テレビチューナーの電源を入れる。

2 防水モニターの主電源スイッチを入れる。

3 お風呂場や台所では：
壁掛け用スタンドに防水モニターを載せる。または、防水モニターの後ろにあるスタンドを広げて平らな場所に置く。

居間や書斎では：
充電スタンドに防水モニターを載せる。または、防水モニターの後ろにあるスタンドを広げてテーブルや机の上に置く。

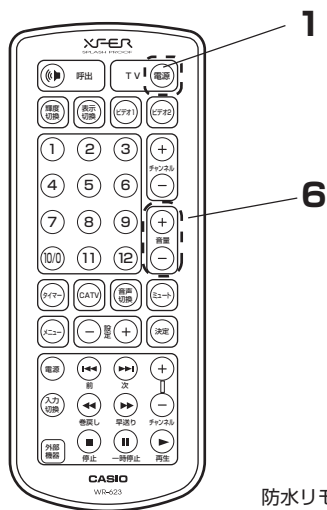
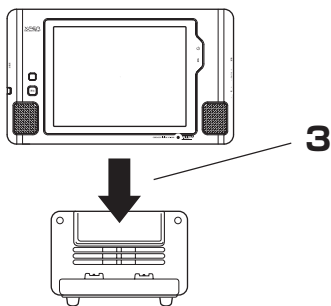
4 防水リモコンの電源ボタンを押して電源を入れる。

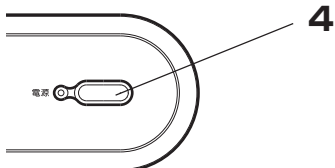
- 防水モニターの電源ボタンで電源を入れることもできます。

5 防水リモコンでチャンネルを選ぶ。

参 考

- ケーブルテレビ放送を見る場合には、CATV ボタンを押してから、0～9のボタンを使用してチャンネルを選んでください。
- ケーブルテレビ放送がプリセットされている場合には、そのプリセット番号ボタンを押すだけで、チャンネルが指定できます。
- 防水モニターのチャンネルボタンで選ぶこともできます。
- チャンネルボタンで、ビデオ 1、ビデオ 2 への切り換えが可能です。
・・・⇄プリセット 1 ⇄プリセット 2 ⇄・・・・・・⇄プリセット 24 ⇄ビデオ 1 ⇄ビデオ 2 ⇄プリセット 1 ⇄・・・

※ イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

充電スタンド

テレビチューナー

6 防水リモコンの音量調節ボタンを押して、音量を調整する。

● 防水モニターの音量調節ボタンで調整することもできます。

ケーブルテレビ(CATV)放送の受信契約について

● ケーブルテレビ(CATV)放送をご覧になるためには、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との加入手続きが必要です。地域によっては、見ることができない場合もあります。詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。

見終わったら

1 防水リモコンの電源ボタンを押して電源を切る。

● 防水モニターの電源ボタンで電源を切ることもできます。

2 お風呂場や台所では：防水モニターと防水リモコンを風呂場(台所)の外に出し、乾いたタオルで水分を拭き取る。

● 濡れたままの防水モニターを充電スタンドに載せると、故障の原因となります。

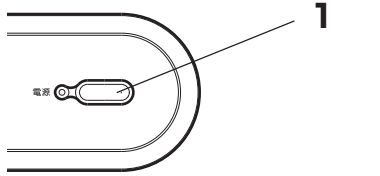
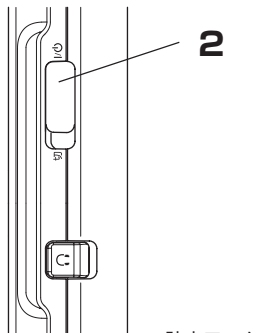
3 充電スタンドに防水モニターを載せて充電する。

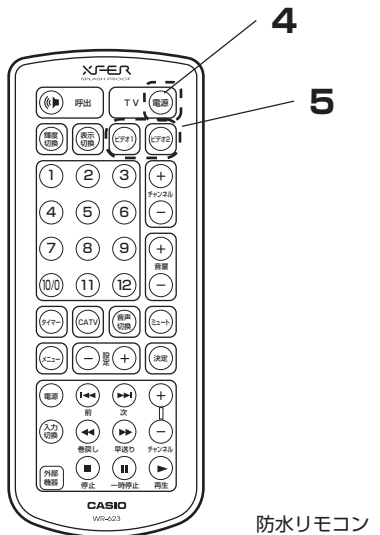
4 テレビチューナーの電源を切る。

● 防水モニターは、旅行などで長期間ご使用にならないとき、主電源スイッチを切ってください。また、AC コードを壁のコンセントから抜いてください。

● 防水モニターは、主電源スイッチを切った状態では充電されません。

ビデオ、DVD、CS放送等を見るには

※ イラストの番号は、操作手順番号です。

テレビチューナー

防水モニター

防水リモコン

ビデオ、DVD、CS放送等を本機で見ることができます。

準備

「接続するには」に従って、テレビチューナー、壁掛け用スタンド、外部機器コントローラーを設置してください。「リモコンコードの設定」に従って、ご使用になる外部機器のメーカーに対応したリモコンコードを設定してください。

重 要

- ご使用になる外部機器によっては、本機の防水リモコンでは操作できない製品や、特定のボタンが使用できない製品があります。このような場合には、ご使用になる外部機器付属のリモコンを使用してください。（外部機器付属のリモコンは、防水モニターに向けても操作できます。）
- DVDの中には、最初にメニュー画面が出るディスクがあります。このようなディスクをご使用になる場合には、使用するDVDプレーヤーの付属リモコンを使用してください。

見るには

1 テレビチューナーの電源を入れる。

2 防水モニターの主電源スイッチを入れる。

3 お風呂場や台所では：
壁掛け用スタンドに防水モニターを載せる。または、防水モニターの後ろにあるスタンドを広げて平らな場所に置く。

居間や書斎では：
充電スタンドに防水モニターを載せる。または、防水モニターの後ろにあるスタンドを広げてテーブルや机の上に置く。

4 防水リモコンの電源ボタンを押して電源を入れる。

- 防水モニターの電源ボタンで電源を入れることもできます。

5 防水リモコンのビデオ1ボタンまたはビデオ2ボタンを押して、ビデオ入力を選ぶ。

- 「ビデオ 1」または「ビデオ 2」と表示されます。

※ イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

充電スタンド

テレビチューナー

6 使用する外部機器を、本機の防水リモコンまたは外部機器側のリモコンで操作する。

- リモコンで外部機器を操作する場合、本機の動作時間に外部機器の動作時間がプラスされます。リモコンのボタンを操作してから防水モニターの画面が反応するまで、時間がかかりますが故障ではありません。
- 防水リモコンで外部機器を操作する場合、ビデオ1またはビデオ2画面からのみ操作が可能です。
- ビデオ1画面表示時には、外部入力1に接続した機器の操作が可能です。ビデオ2画面表示時には、外部入力2に接続した機器の操作が可能です。

7 防水リモコンの音量調節ボタンを押して、音量を調整する。

- 防水モニターの音量調節ボタンで調整することもできます。

見終わったら

1 ご使用の外部機器の電源を切る。

2 防水リモコンの電源ボタンを押して電源を切る。

- 防水モニターの電源ボタンで電源を切ることもできます。

3 お風呂場や台所では：防水モニターと防水リモコンを風呂場(台所)の外に出し、乾いたタオルで水分を拭き取る。

- 濡れたままの防水モニターを充電スタンドに載せると、故障の原因となります。

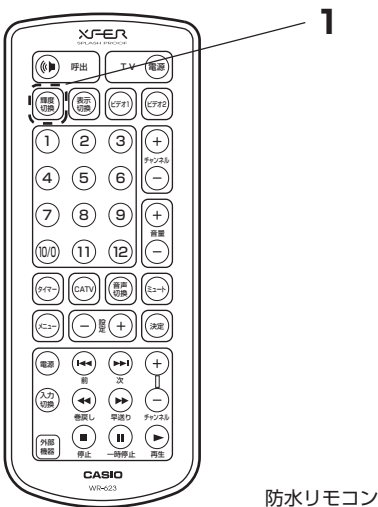
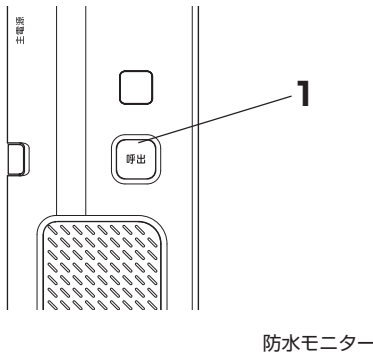
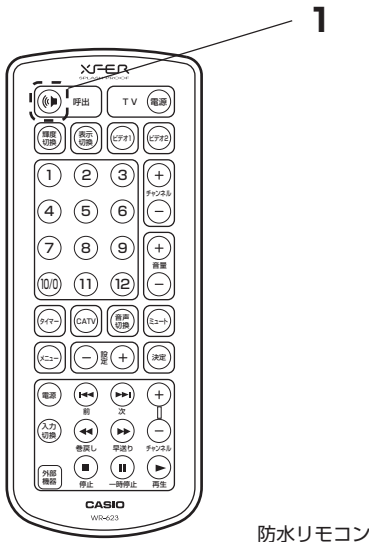
4 充電スタンドに防水モニターを載せて充電する。

5 テレビチューナーの電源を切る。

- 防水モニターは、旅行などで長期間ご使用にならないとき、主電源スイッチを切ってください。また、AC コードを壁のコンセントから抜いてください。
- 防水モニターは、主電源スイッチを切った状態では充電されません。

便利な機能を使うには

※ イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

防水モニター

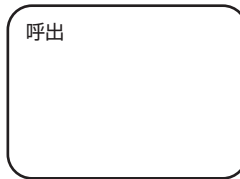
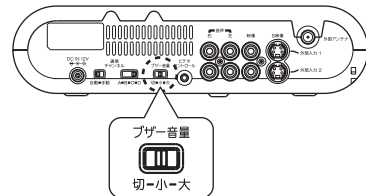
防水リモコン

■呼び出しブザー

本機には呼び出しブザー(電子音)機能がついています。

● メニュー画面以下の設定画面に入ると、呼び出しブザーは鳴りません。

1 防水リモコンまたは防水モニターの「呼出」ボタンを押す。

約5秒間、テレビチューナーのブザー(電子音)が鳴り、「呼出」表示が点滅します。

● テレビチューナーの背面側にある「ブザー音量」スイッチで、音の大きさを調整することができます。ブザーを使用しない場合は「切」にします。

■輝度切換(節電機能)

●消費電力を低くする「節電」モードにします。「標準」モードよりも電池持続時間が延びます。

●薄暗いところで見るときに「節電」モードを使用すると、画面のまぶしさが緩和されます。

1 防水リモコンの「輝度切換」ボタンを押す。

「輝度切換」ボタンを押すごとに、「標準」と「節電」が切り換わります。

※ イラストの番号は、操作手順番号です。

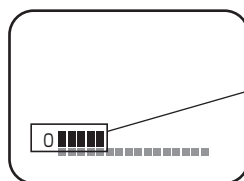
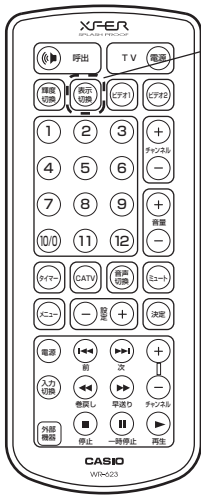
防水リモコン

■ミュート

電話の応対時など、一時的に音声を消したいときに使用します。

1 防水リモコンの「ミュート」ボタンを押す。

ミュート中に、再度「ミュート」ボタンを押すと、音声が出るようになります。

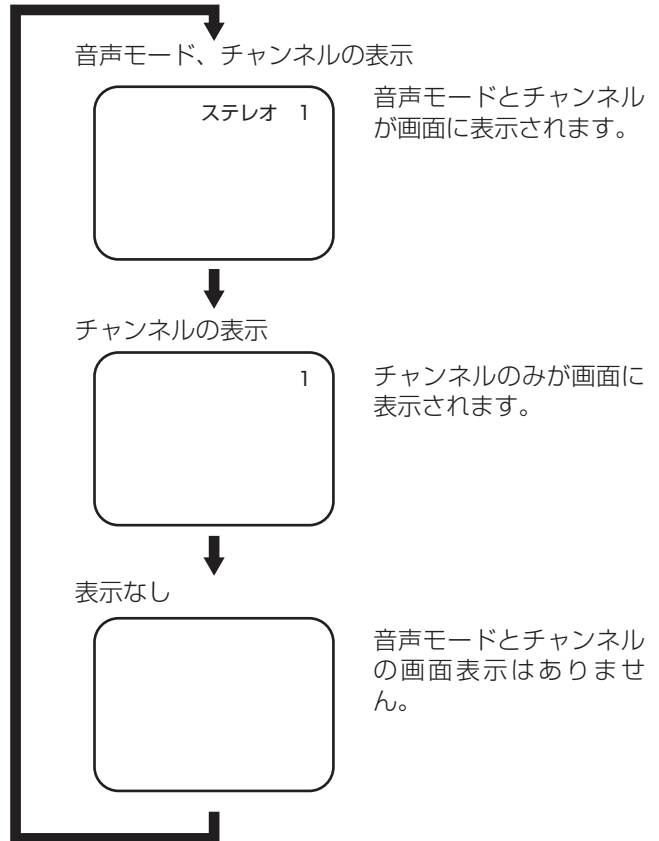
「音量調節」ボタンを押しても、音が出るようになりますが、この場合は、音量も同時に上下します。

※ イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

■画面表示

画面に音声モード、チャンネルを表示します。

1 防水リモコンの「表示切換」ボタンを押す。

「表示切換」ボタンを押すごとに、順に切り換わります。

- 音声モード、チャンネルは次の色で表示します。
  ステレオ放送受信時：黄色
  二重音声放送受信時：赤色
  モノラル放送受信時：緑色
  「音声切換」ボタンを押して、モノラルに切り換えた時：水色

※ イラストの番号は、操作手順番号です。

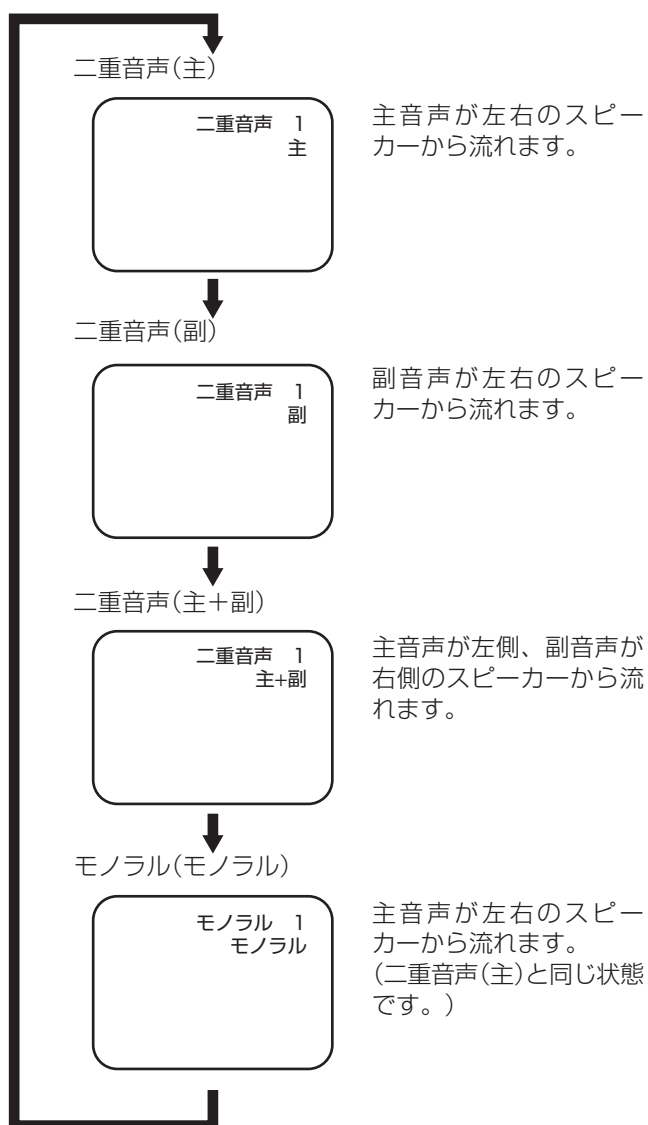
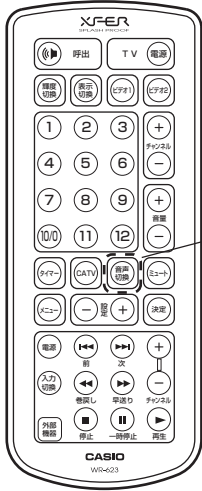
防水リモコン

■音声切換

音声モードを切り換えます。

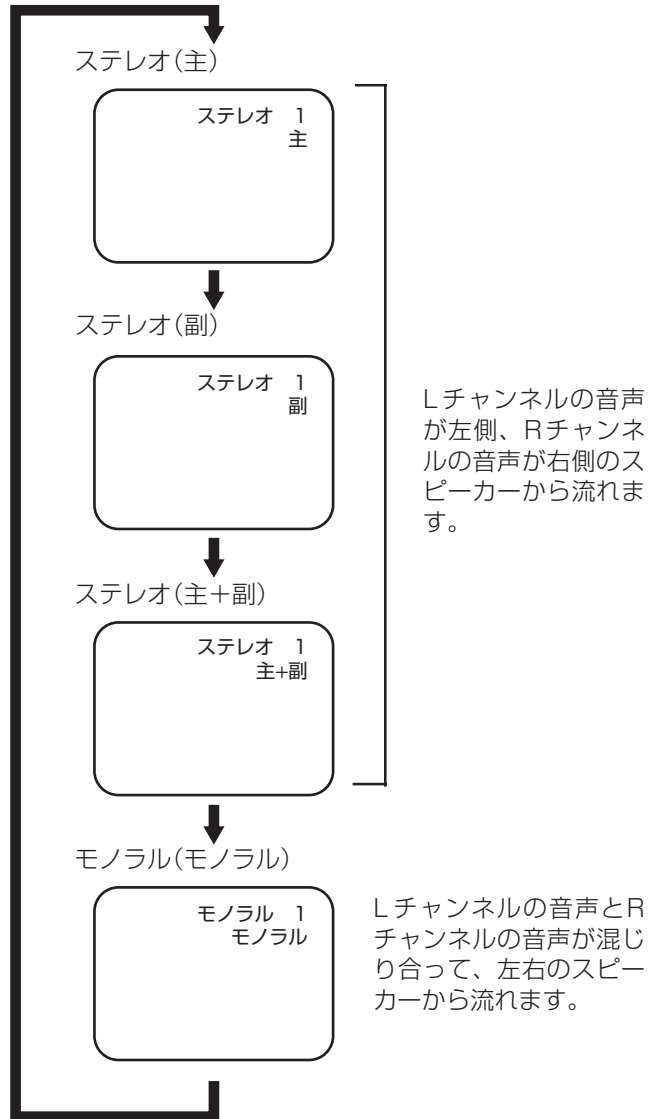
二重音声放送の場合

1 防水リモコンの「音声切換」ボタンを押す。

「音声切換」ボタンを押すごとに、順に切り換わります。画面表示を見て切り換えてください。

※ イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

ステレオ放送の場合

1 防水リモコンの「音声切換」ボタンを押す。

「音声切換」ボタンを押すごとに、順に切り換わります。画面表示を見て切り換えてください。

モノラル放送の場合

音声は変わりません。

※ イラストの番号は、操作手順番号です。

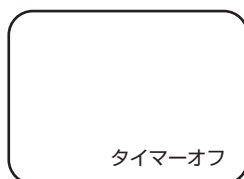
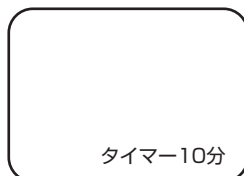
防水リモコン

■カウントダウンタイマー機能

タイマーは1～60分まで、1分単位で設定できます。時間になるとアラーム音と表示でお知らせします。

タイマーの設定

1 防水リモコンの「タイマー」ボタンを押す。

● タイマー設定状態になり、画面右下に“タイマーオフ”と表示されます。前回タイマー設定した場合は、前回設定した時間が表示されます。

2 「設定」ボタンを押して時間を設定する。

⊕
…⇄タイマー60分⇄タイマーオフ⇄タイマー１分⇄タイマー２分⇄…
⊖

設定ボタンを押し続けると、連続して時間が変わります。1分単位で変わり、下１桁が「0」になると10分単位で変わります。

（例） ● 37分から「＋」ボタンを押し続けたとき：

37→38→39→40→50→60→オフ→10→20…

● 23分から「－」ボタンを押し続けたとき：

…40←50←60←オフ←10←20←21←22←23

3 「タイマー」または「決定」ボタンを押す。

- タイマーが設定され、カウントダウンを開始します。
- 画面の右下には時計マークが表示されます。

- 設定時間の３分前から画面の右下に残り時間が表示されます。

→ 残り3分 → 残り2分 → 残り１分

- 設定時間になると、約４秒間アラーム音が鳴り、同時に画面の右下に時計マークが点滅します。

4 アラームが鳴っているとき、アラーム音を止めるには「タイマー」ボタンを押す。

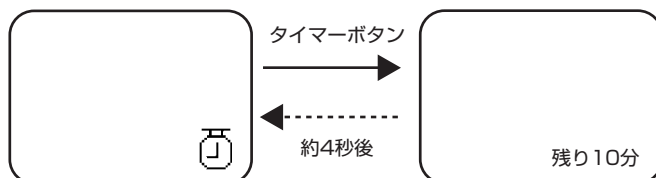
※ イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

防水リモコン

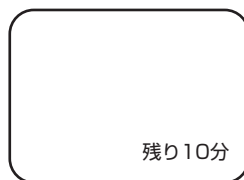
残り時間の確認

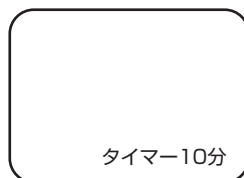
1 カウントダウン中に、「タイマー」ボタンを押す。

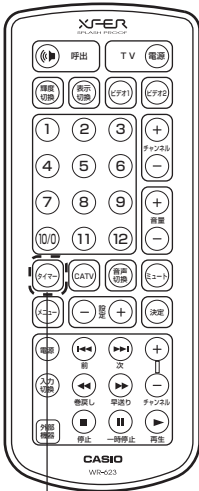
● 時計マークが残り時間表示になります。約４秒間表示した後、自動的に時計マークの表示に戻ります。

カウントダウン中の設定時間変更

1 カウントダウン中に、「タイマー」ボタンを押す。

● 時計マークが残り時間表示になります。

● 残り時間が3分を切っている場合は、タイマーボタンを押すだけでタイマー設定状態になります。

2 残り時間を表示している間(約4秒間)に、もう一度「タイマー」ボタンを押す。

● タイマー設定状態になり、カウントダウン中のタイマーは解除されます。

3 「設定」ボタンを押して時間を変更する。

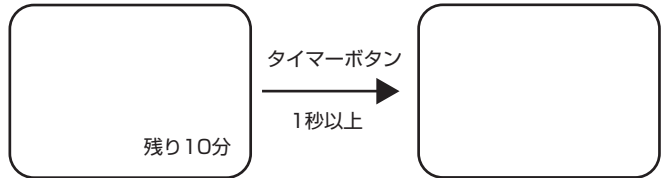
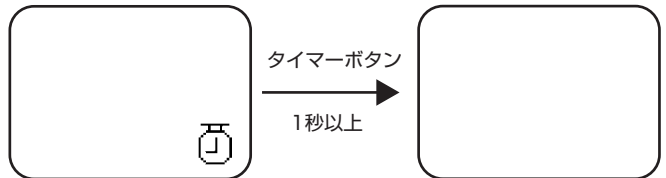
※ イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

4 「タイマー」または「決定」ボタンを押す。

● 変更した時間が設定され、カウントダウンを開始します。

タイマーの解除

1 カウントダウン中または残り時間を表示している間に、「タイマー」ボタンを1秒以上押し続ける。

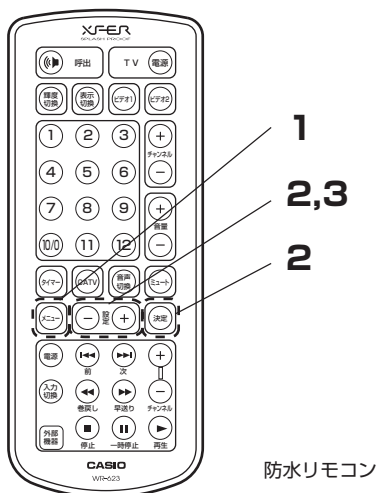
● タイマーが解除され、時計マークが消えます。

時間を設定または変更しているときに「タイマーオフ」を選択し、「タイマー」または「決定」ボタンを押すとタイマーが解除されます。また、電源を切ってもタイマーが解除されます。

タイマーのアラーム音量切換

「設定するには」の「アラーム音量切換」を参照してください。

☞ 「アラーム音量切換」、P50

設定するには

※イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

■画質調整

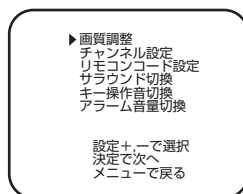
「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」を調整します。

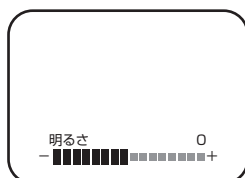
調整した結果はすぐに画面に反映されますので、画面を見ながら調整してください。

準備

テレビチューナーと防水モニターの電源を入れます。画面に「圏外」と表示された場合は、電波の状況が良くありません。防水モニターを電波の状況が良い場所に移動してください。

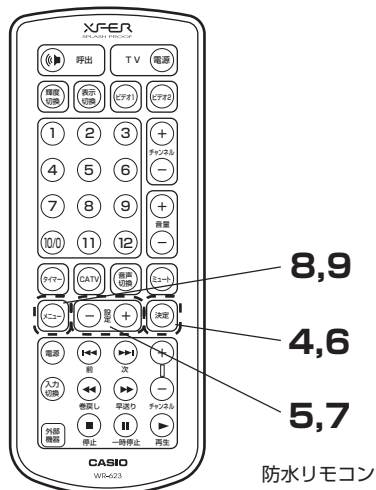
1 防水リモコンの「メニュー」ボタンを押す。

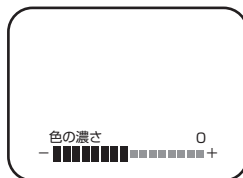
・メニュー画面が表示されます。

2 「設定」ボタンを押してカーソルを「画質調整」に合わせて「決定」ボタンを押す。

・「明るさ」調整画面になります。

3 「設定」ボタンを押して「明るさ」を調整する。

・[明るさ]を＋側に調整すると画面が明るくなり、−側に調整すると暗くなります。

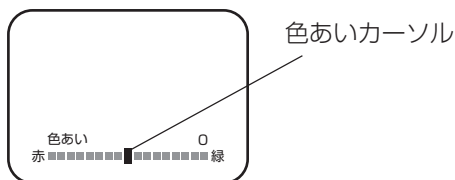
※イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

4 「決定」ボタンを押す。

・「色の濃さ」調整画面になります。

5 「設定」ボタンを押して「色の濃さ」を調整する。

・[色の濃さ]を＋側に調整すると色が濃くなり、－側に調整すると色が薄くなり白黒に近づきます。

6 「決定」ボタンを押す。

・「色あい」調整画面になります。

7 「設定」ボタンを押して「色あい」を調整する。

・「色あいカーソル」を赤側に調整すると赤が強くなり、緑側に調整すると緑が強くなります。

参考

● 「色あい」調整画面で「決定」ボタンを押すと、「明るさ」調整画面になります。

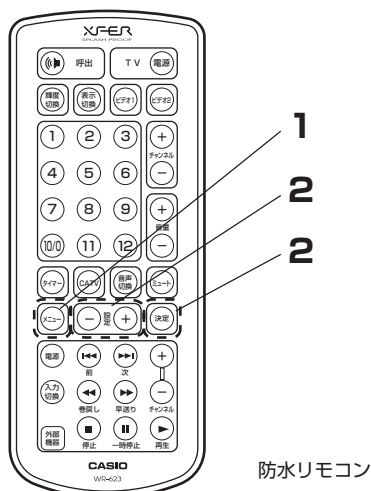
8 調整が終了したら、「メニュー」ボタンを押してメニュー画面に戻る。

・続けて他の項目を設定する場合には、本書の該当するページをご覧ください。

9 もう一度「メニュー」ボタンを押して終了する。

プリセットチャンネルの初期設定

プリセット番号	受信チャンネル	チャンネル表示
1	1	1
2	2	2
3	3	3
4	4	4
5	5	5
6	6	6
7	7	7
8	8	8
9	9	9
10	10	10
11	11	11
12	12	12
13	13	13
14	14	14
15	15	15
16	16	16
17	17	17
18	18	18
19	19	19
20	20	20
21	21	21
22	22	22
23	23	23
24	24	24

※イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

■チャンネル設定

ご使用になる地域により、受信できるチャンネル(放送局)は異なります。以下の操作で、地域に合わせて設定してください。

プリセットできるチャンネル数は、最大24チャンネルです。13～24のプリセット番号に設定された放送は、チャンネル選択用の「＋」または「－」ボタンで選んでください。

準備

テレビチューナーと防水モニターの電源を入れます。画面に「圏外」と表示された場合は、電波の状況が良くありません。防水モニターを電波の状態が良い場所に移動してください。

チャンネル自動設定

外部アンテナ入力端子からのテレビ電波を受信して、自動的にプリセットします。

プリセット番号１と２には、チャンネル１と２が設定されます。また、プリセット番号１と２以外の放送されていないチャンネルは、スキップするように設定されます。

1 防水リモコンの「メニュー」ボタンを押す。

・メニュー画面が表示されます。

▶画質調整
チャンネル設定
リモコンコード設定
サラウンド切換
キー操作音切換
アラーム音量切換

設定+,－で選択
決定で次へ
メニューで戻る

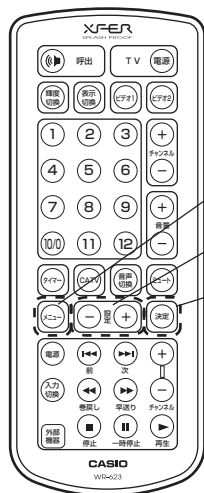
2 「設定」ボタンを押してカーソルを「チャンネル設定」に合わせて「決定」ボタンを押す。

・自動設定と手動設定の選択画面になります。

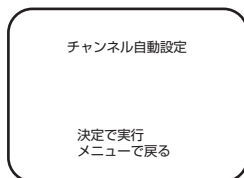
チャンネル設定

▶自動設定
手動設定

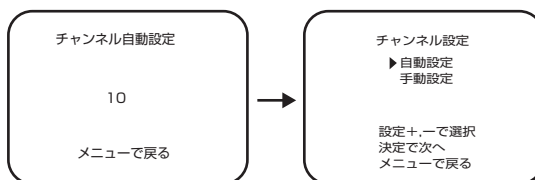
設定+,－で選択
決定で次へ
メニューで戻る

※イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

3 カーソルを「自動設定」に合わせて「決定」ボタンを押す。

・「チャンネル自動設定」の画面になります。

4 「決定」ボタンを押す。

・「実行」画面が表示されます。この「実行」画面が消えて、自動設定と手動設定の選択画面に戻るとプリセット終了です。

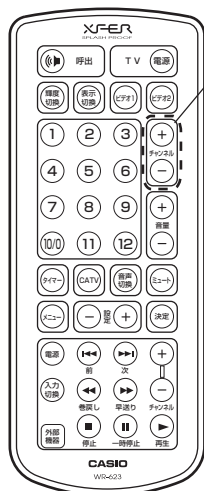
参考

● 自動設定中に「メニュー」ボタンを押すと、それまでにプリセットしたチャンネル設定を無効にして、自動設定と手動設定の選択画面に戻ります。

5 「メニュー」ボタンを押してメニュー画面に戻る。

・続けて他の項目を設定する場合には、本書の該当するページをご覧ください。

6 もう一度「メニュー」ボタンを押して終了する。

設定するには

※イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

「チャンネル自動設定」のしくみ

1. プリセット番号1と2に、チャンネル1と2を設定。
2. 放送中のVHF放送局を探して、そのチャンネルと同じ数字のプリセット番号に設定。
3. 放送中のUHF放送局を探して、数字の小さいチャンネルから順に、空いているプリセット番号に設定。
4. 放送中のCATVチャンネルを探して、数字の小さいチャンネルから順に、空いているプリセット番号に設定。
5. 上記の手順で設定されなかったプリセット番号を設定。

   受信チャンネル：プリセット番号と同じ数字のチャンネル

   チャンネル表示：プリセット番号と同じ数字

   スキップ　　　：する

＊ 手順5で設定されたプリセット番号は、放送されていないので見ることはできません。

スキップについて

● チャンネル設定を終えて、テレビを見るとき、チャンネル選択用の「＋」または「－」ボタンを押してチャンネルを選ぶ場合は、放送のないチャンネルを飛び越すことができます。

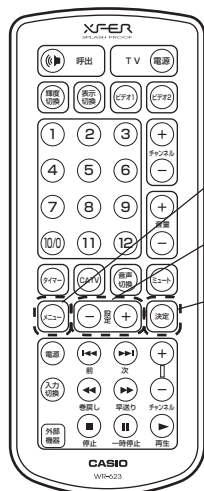
例

チャンネル7をスキップした場合

⇄1⇄2⇄3⇄4⇄5⇄6⇄8⇄9⇄

チャンネル7をスキップしなかった場合

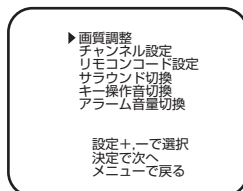
⇄1⇄2⇄3⇄4⇄5⇄6⇄7⇄8⇄9⇄

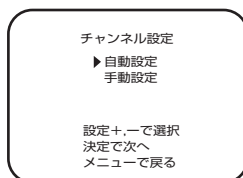
※イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

チャンネル手動設定

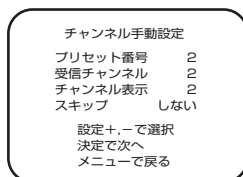
自動設定でプリセットしたチャンネルを、個別に変更することができます。

1 防水リモコンの「メニュー」ボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

2 「設定」ボタンを押してカーソルを「チャンネル設定」に合わせて「決定」ボタンを押す。

・自動設定と手動設定の選択画面になります。

3 カーソルを「手動設定」に合わせて「決定」ボタンを押す。

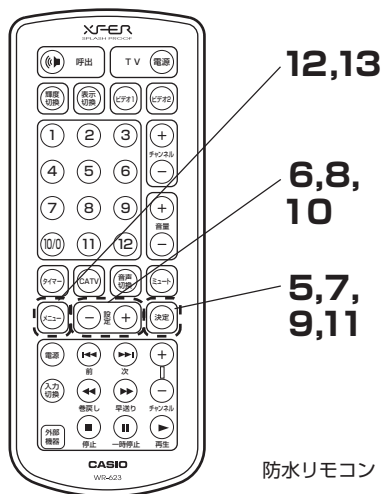
・「チャンネル手動設定」の画面になります。

チャンネル手動設定
プリセット番号　2
受信チャンネル　2
チャンネル表示　2
スキップ　しない
設定＋,ーで選択
決定で次へ
メニューで戻る

4 「設定」ボタンを押して「プリセット番号」を選ぶ。

・「プリセット番号」が点滅しています。

設定するには

※イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

5 「決定」ボタンを押す。

6 「設定」ボタンを押して「受信チャンネル」を選ぶ。

・「受信チャンネル」が点滅しています。

7 「決定」ボタンを押す。

8 「設定」ボタンを押して「チャンネル表示」を選ぶ。

・「チャンネル表示」が点滅しています。「チャンネル表示」とは、画面に表示されるチャンネル番号です。

9 「決定」ボタンを押す。

10 「設定」ボタンを押してスキップ「する」か「しない」かを選ぶ。

11 「決定」ボタンを押す。

・次のプリセット番号になります。

・他のチャンネルも設定する場合には、操作4～11を繰り返してください。

12 「メニュー」ボタンを2回押してメニュー画面に戻る。

・続けて他の項目を設定する場合には、本書の該当するページをご覧ください。

13 もう一度「メニュー」ボタンを押して終了する。

※イラストの番号は、操作手順番号です。

■リモコンコードの設定

本機の防水リモコンを使って、お使いのビデオ、DVDプレーヤー、CSチューナー等を操作することができます。

重要

● 蛍光灯の強い光がリモコン受光部にあたっていると、誤動作する場合や、リモコンで動作しない場合があります。

● リモコンコードの誤認識をさけるため、防水リモコンの設定中は、外部機器付属のリモコンと防水リモコンのボタンを、確認音が鳴るまで通常より長めに押してください。

● 自動設定および手動設定ができなかったときは、メニューに戻ってから操作し直すと設定できる場合があります。

● リモコンコードの設定では、ビデオ1の外部機器とビデオ2の外部機器のリモコンコードをそれぞれ登録します。接続する外部機器以外のリモコンコードを登録することはできません。

リモコンコードの自動設定

準備

お使いの外部機器に付属のリモコンを用意します。テレビチューナーと防水モニターの電源を入れます。画面に「圏外」と表示された場合は、電波の状況が良くありません。防水モニターを電波の状況が良い場所に移動してください。

1 **防水リモコンの「メニュー」ボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。

防水リモコン

設定するには

※イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

2 「設定」ボタンを押してカーソルを「リモコンコード設定」に合わせて「決定」ボタンを押す。

・「リモコンコード設定」画面になります。

・「ビデオ1設定」か「ビデオ2設定」かを選択します。ここでは「ビデオ1」を設定しますので「ビデオ1設定」を選択します。「ビデオ2」を設定する場合には、「ビデオ2設定」を選択して、以降の操作を行ってください。

リモコンコード設定

▶ビデオ1設定
ビデオ2設定

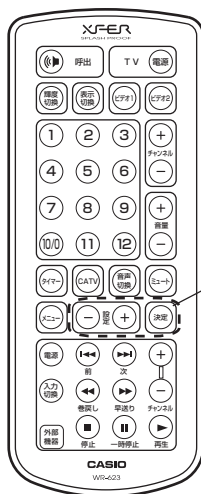
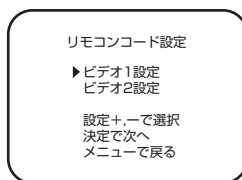
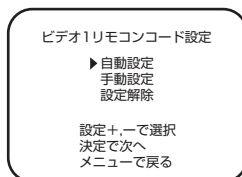
設定+,−で選択
決定で次へ
メニューで戻る

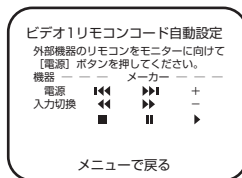
3 カーソルを「ビデオ 1 設定」に合わせて「決定」ボタンを押す。

・「ビデオ1リモコンコード設定」画面になります。

ビデオ1リモコンコード設定

▶自動設定
手動設定
設定解除

設定+,−で選択
決定で次へ
メニューで戻る

4 カーソルを「自動設定」に合わせて「決定」ボタンを押す。

・ビデオ1の「自動設定」画面になります。

● 現在登録されている設定内容を表示します。

	登録済みの状態	未登録の状態
機器名	機器名を表示	“— — —”を表示
メーカー名	メーカー名を表示	“— — —”を表示
操作ボタン	緑色で表示	白色で表示

※イラストの番号は、操作手順番号です。

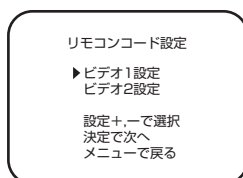
防水リモコン

5 防水モニターに向けて、外部機器付属のリモコンの「電源」ボタンを押す。

・自動的に設定して、設定内容を約 4 秒間表示後、「リモコンコード設定」画面に戻ります。

リモコンコード設定

▶ビデオ1設定
ビデオ2設定

設定+,−で選択
決定で次へ
メニューで戻る

● お使いの外部機器に付属のリモコンが、自動設定に対応していない場合には、下記の画面を表示します。「決定」ボタンで「手動設定」画面になります。

ビデオ1リモコンコード自動設定

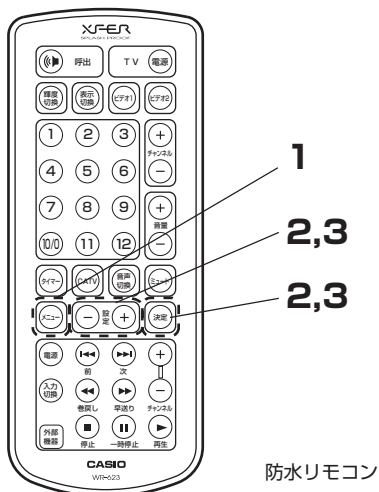
該当するコードがありません。
手動設定により登録してください。

決定で手動設定へ
メニューで戻る

6 「メニュー」ボタンを押してメニュー画面に戻る。

・続けて他の項目を設定する場合には、本書の該当するページをご覧ください。

7 もう一度「メニュー」ボタンを押して終了する。

※イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

リモコンコードの手動設定

自動設定では設定できない場合や、登録済みの内容を変更する場合に、手動で設定します。

1 防水リモコンの「メニュー」ボタンを押す。

・メニュー画面が表示されます。

2 「設定」ボタンを押してカーソルを「リモコンコード設定」に合わせて「決定」ボタンを押す。

・「リモコンコード設定」画面になります。

・「ビデオ1設定」か「ビデオ2設定」かを選択します。ここでは「ビデオ1」を設定しますので「ビデオ1設定」を選択します。「ビデオ2」を設定する場合には、「ビデオ2設定」を選択して、以降の操作を行ってください。

リモコンコード設定

▶ビデオ1設定
ビデオ2設定

設定+,−で選択
決定で次へ
メニューで戻る

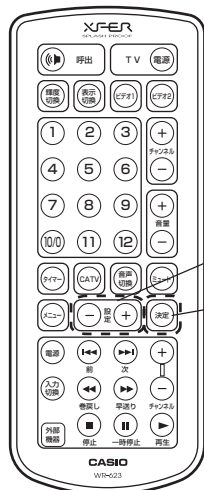
3 カーソルを「ビデオ 1 設定」に合わせて「決定」ボタンを押す。

・「ビデオ1リモコンコード設定」画面になります。

ビデオ1リモコンコード設定

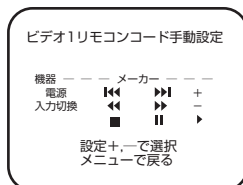
▶自動設定
手動設定
設定解除

設定+,−で選択
決定で次へ
メニューで戻る

※イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

4 カーソルを「手動設定」に合わせて「決定」ボタンを押す。

・ビデオ1の「手動設定」画面になります。

・「機器名」が点滅しています。

● 現在登録されている設定内容を表示します。

	登録済みの状態	未登録の状態
機器名	機器名を表示	“— — —”を表示
メーカー名	メーカー名を表示	“— — —”を表示
操作ボタン	緑色で表示	白色で表示

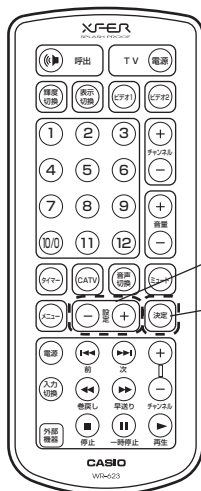
● リモコンコード登録済みの場合、「自動設定」または「手動設定」画面を表示すると、登録済みの「機器名」「メーカー名」「操作ボタン」の設定内容を表示します。

5 「設定」ボタンを押して「機器名」を選ぶ。

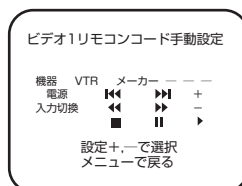
・お使いの外部機器に合わせてください。

VTR	ビデオデッキの場合
DVD	DVD プレーヤーの場合
CS	CS チューナーの場合
BS	BS チューナーの場合
その他	上記以外の場合

● 手動設定で登録済みの場合、登録済みの「機器名」のままにすると、「メーカー名」「操作ボタン」の設定内容が保持されます。「機器名」を変更すると、「メーカー名」「操作ボタン」が未登録状態になります。

※イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

6 「決定」ボタンを押す。

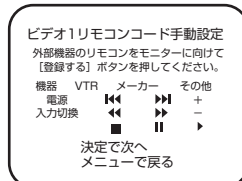
・「メーカー名」が点滅しています。

7 「設定」ボタンを押して「メーカー名」を選ぶ。

・お使いの外部機器に合わせてください。

メーカー名：アイワ、サンヨー、シャープ、ソニー、東芝、パイオニア、日立、ビクター、フナイ、松下、三菱、ＮＥＣ、その他

● 手動設定で登録済みの場合、登録済みの「メーカー名」のままにすると、「操作ボタン」の設定内容が保持されます。「メーカー名」を変更すると、「操作ボタン」が未登録状態になります。

8 「決定」ボタンを押す。

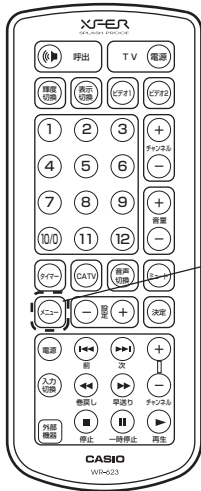
・「電源」が点滅しています。

9 外部機器付属のリモコンを使って、リモコンコードを設定する。

● 外部機器付属のリモコンは、防水モニターに向けて操作します。

9-1 外部機器付属のリモコンの[電源]ボタンを押す。

・[電源]のリモコンコードが登録されて、画面の「電源」が緑色になります。

・点滅が「 ⏮ 」に移ります。

※イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

9-2 [⏮]ボタンを押す。

・[⏮]のリモコンコードが登録されて、画面の「 ⏮ 」が緑色になります。

・点滅が「 ⏭ 」に移ります。

9-3 同様に、[⏭] ボタン、[＋] ボタン、[入力切換] ボタン、[◀◀]ボタン、[▶▶]ボタン、[−]ボタン、[■]ボタン、[❚❚]ボタン、[▶]ボタンの順に押していく。

・それぞれのリモコンコードが登録されて、画面には登録されたボタンが緑色で表示されます。

・[▶]ボタンを押すと、点滅が「電源」に戻ります。

参考

● 防水リモコンの「決定」ボタンを押すと点滅が移動して、登録したい操作ボタンを選択できます。

● 防水リモコンの外部機器操作用ボタンを押すと、登録したいボタンを直接選択することができます。

● 他の外部機器のリモコンコードが登録されている場合には、設定の解除を促すメッセージを表示します（防水リモコンの外部機器操作用ボタンには、同一機器のリモコンコードしか登録できません）。この表示で「決定」ボタンを押すと「設定解除」画面に移ります。

ビデオ1リモコンコード手動設定
他の機器のコードを登録する場合は
今の設定を解除して登録し直してください。

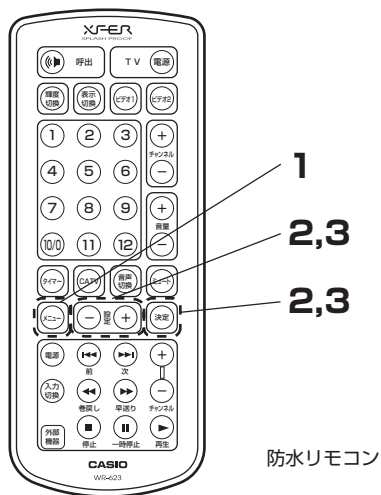
決定で設定解除へ
メニューで戻る

10 防水リモコンの「メニュー」ボタンを押して「ビデオ1 リモコンコード設定」画面に戻る。

11 「メニュー」ボタンを 2 回押してメニュー画面に戻る。

・続けて他の項目を設定する場合には、本書の該当するページをご覧ください。

12 もう一度「メニュー」ボタンを押して終了する。

※イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

リモコンコードの設定解除

リモコンコードの設定を削除します。

1 防水リモコンの「メニュー」ボタンを押す。

・メニュー画面が表示されます。

2 カーソルを「リモコンコード設定」に合わせて「決定」ボタンを押す。

・「リモコンコード設定」画面になります。

・「ビデオ1設定」か「ビデオ2設定」かを選択します。ここでは「ビデオ1」の設定を解除しますので「ビデオ1設定」を選択します。「ビデオ2」の設定を解除する場合には、「ビデオ2設定」を選択して、以降の操作を行ってください。

● カーソルは、「設定」ボタンで移動します。

リモコンコード設定

▶ビデオ1設定
ビデオ2設定

設定+,ーで選択
決定で次へ
メニューで戻る

3 カーソルを「ビデオ1設定」に合わせて「決定」ボタンを押す。

・「ビデオ1リモコンコード設定」画面になります。

ビデオ1リモコンコード設定

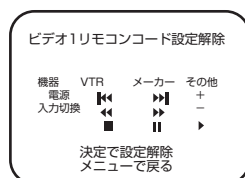
▶自動設定
手動設定
設定解除

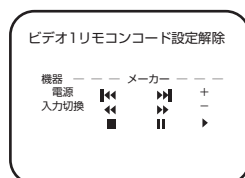
設定+,ーで選択
決定で次へ
メニューで戻る

※イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

4 カーソルを「設定解除」に合わせて「決定」ボタンを押す。

・「設定解除」画面になり、ビデオ1のリモコンコード設定内容が表示されます。

5 「決定」ボタンを押す。

・リモコンコード設定を解除して、すべて未登録になった確認画面になります。

・約 4 秒後に「リモコンコード設定」画面に戻る。

6 「メニュー」ボタンを押してメニュー画面に戻る。

・続けて他の項目を設定する場合には、本書の該当するページをご覧ください。

7 もう一度「メニュー」ボタンを押して終了する。

自動設定に対応しているリモコンコード一覧表

各メーカー毎に数種類のリモコンコードがあります。ご使用になる外部機器メーカーのリモコンコードを設定したら、動作するか確認してください。

● ご使用になる外部機器によっては、本機の防水リモコンでは操作できない製品や、特定のボタンが使用できない製品があります。このような場合には、ご使用になる外部機器付属のリモコンを使用してください。（外部機器付属のリモコンは、防水モニターに向けても操作できます。）

ビデオデッキ

メーカー	電源	入力切換	選局 ＋	選局 －	再生 ▶	停止 ■	一時停止 II	早送り ▶▶	巻き戻し ◀◀
アイワ1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アイワ2	○	－	○	○	○	○	○	○	○
アイワ3	○	－	○	○	○	○	○	○	○
サンヨー1	○	－	○	○	○	○	○	○	○
サンヨー2	○	－	○	○	○	○	○	○	○
サンヨー3	○	－	○	○	○	○	○	○	○
サンヨー4	○	－	○	○	○	○	○	○	○
シャープ1	○	－	○	○	○	○	○	○	○
シャープ2	○	－	○	○	○	○	○	○	○
ソニー1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソニー2	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソニー3	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソニー4	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソニー5	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソニー6	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東芝1	○	－	○	○	○	○	○	○	○
東芝2	○	－	○	○	○	○	○	○	○
日立1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日立2	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日立3	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ビクター1	○	－	○	○	○	○	○	○	○
ビクター2	○	－	○	○	○	○	○	○	○
ビクター3	○	－	○	○	○	○	○	○	○
フナイ1	○	－	○	○	○	○	○	○	○
松下1	○	－	○	○	○	○	○	○	○
松下2	○	－	○	○	○	○	○	○	○
松下3	○	－	○	○	○	○	○	○	○
松下4	○	－	○	○	○	○	○	○	○
三菱1	○	－	○	○	○	○	○	○	○
三菱2	○	－	○	○	○	○	○	○	○
NEC 1	○	－	○	○	○	○	○	○	○
NEC 2	○	－	○	○	○	○	○	○	○
NEC 3	○	－	○	○	○	○	○	○	○
NEC 4	○	－	○	○	○	○	○	○	○

「○」は動作します。「－」は動作しません。

CSチューナー

メーカー	電源	選局＋	選局−
アイワ1	○	○	○
アイワ2	○	○	○
アイワ3	○	○	○
ソニー1	○	○	○
ソニー2	○	○	○
ソニー3	○	○	○
東芝1	○	○	○
東芝2	○	○	○
松下1	○	○	○
松下2	○	○	○
松下3	○	○	○

「○」は動作します。「－」は動作しません。

DVDプレーヤー

● DVDの中には、最初にメニュー画面が出るディスクがあります。このようなディスクをご使用になる場合には、使用するDVDプレーヤーの付属リモコンを使用してください。（DVDプレーヤーの付属リモコンは、防水モニターに向けても操作可能です。）

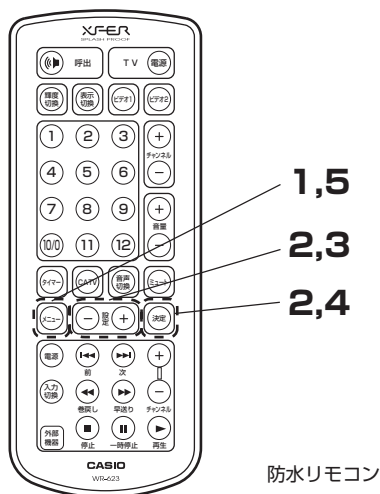
メーカー	電源	再生 ▶	停止 ■	一時停止 II	早送り ▶▶	巻き戻し ◀◀	チャプターの頭出し	
							前 I◀◀	次 ▶▶I
シャープ1	○	○	○	○	○	○	○	○
ソニー1	○	○	○	○	○	○	○	○
ソニー2	○	○	○	○	○	○	○	○
東芝1	○	○	○	○	○	○	○	○
パイオニア1	○	○	○	○	○	○	○	○
パイオニア2	○	○	○	○	○	○	○	○

「○」は動作します。「－」は動作しません。

BSチューナー

メーカー	電源	選局＋	選局−
シャープ1	○	○	○
シャープ2	○	○	○
ソニー1	○	○	○
東芝1	○	○	○
松下1	○	○	○

「○」は動作します。「－」は動作しません。

※イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

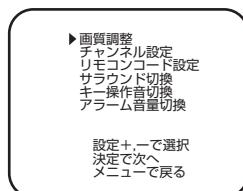
■サラウンド切換

臨場感あふれるサラウンド(スペシャライザー機能※1)が楽しめます。

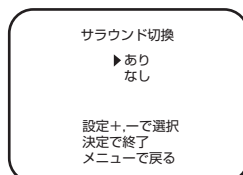
準備

テレビチューナーと防水モニターの電源を入れます。画面に「圏外」と表示された場合は、電波の状況が良くありません。防水モニターを電波の状況が良い場所に移動してください。

1 防水リモコンの「メニュー」ボタンを押す。

・メニュー画面が表示されます。

2 「設定」ボタンを押してカーソルを「サラウンド切換」に合わせて「決定」ボタンを押す。

・「サラウンド切換」画面になります。

サラウンド切換
▶あり
なし
設定+,−で選択
決定で終了
メニューで戻る

3 「設定」ボタンを押して「あり」か「なし」かを選ぶ。

あり：サラウンドが有効になります。

なし：サラウンドが無効になります。

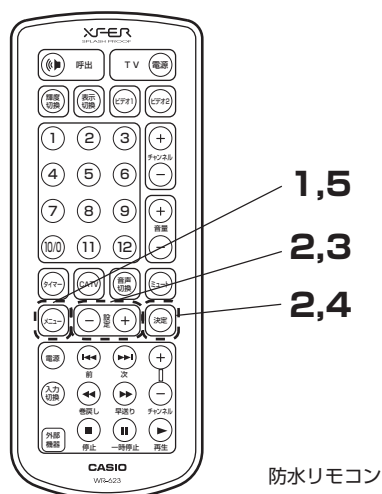
・外部機器のサラウンド設定がONの場合は、本機のサラウンド切換は、「なし」にしてください。

4 「決定」ボタンを押してメニュー画面に戻る。

・続けて他の項目を設定する場合には、本書の該当するページをご覧ください。

5 「メニュー」ボタンを押して終了する。

※1 スペシャライザー」はデスパー・プロダクツ社とのライセンス契約に基づき製造されています。*Spatializer*®及びシンボル・マークは、デスパー・プロダクツ社の登録商標です。

※イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

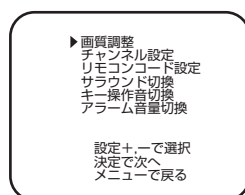
■キー操作音切換

防水リモコンのボタンを押したときに、操作音を鳴らす／鳴らさないの設定ができます。

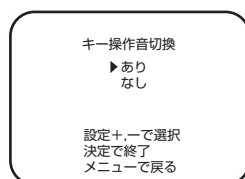
準備

テレビチューナーと防水モニターの電源を入れます。画面に「圏外」と表示された場合は、電波の状況が良くありません。防水モニターを電波の状況が良い場所に移動してください。

1 防水リモコンの「メニュー」ボタンを押す。

・メニュー画面が表示されます。

2 「設定」ボタンを押してカーソルを「キー操作音切換」に合わせて「決定」ボタンを押す。

・「キー操作音切換」画面になります。

キー操作音切換
▶あり
なし
設定+,－で選択
決定で終了
メニューで戻る

3 「設定」ボタンを押して「あり」か「なし」かを選ぶ。

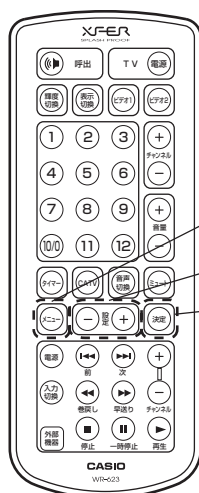
あり：キー操作音を鳴らします（操作が可能なボタンのみ）。

なし：キー操作音を鳴らしません。

4 「決定」ボタンを押してメニュー画面に戻る。

・続けて他の項目を設定する場合には、本書の該当するページをご覧ください。

5 「メニュー」ボタンを押して終了する。

※イラストの番号は、操作手順番号です。

防水リモコン

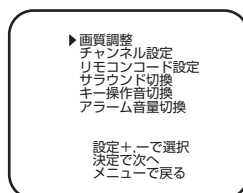
■アラーム音量切換

タイマーのアラーム音量を設定します。

準備

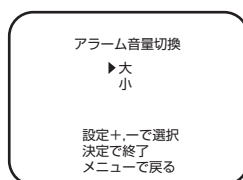
テレビチューナーと防水モニターの電源を入れます。画面に「圏外」と表示された場合は、電波の状況が良くありません。防水モニターを電波の状況が良い場所に移動してください。

1 防水リモコンの「メニュー」ボタンを押す。

・メニュー画面が表示されます。

2 「設定」ボタンを押してカーソルを「アラーム音量切換」に合わせて「決定」ボタンを押す。

・「アラーム音量切換」画面になります。

アラーム音量切換
▶大
小

設定+,ーで選択
決定で終了
メニューで戻る

3 「設定」ボタンを押して「大」か「小」かを選ぶ。

大：アラーム音を大きくします。

小：アラーム音を小さくします。

4 「決定」ボタンを押してメニュー画面に戻る。

・続けて他の項目を設定する場合には、本書の該当するページをご覧ください。

5 「メニュー」ボタンを押して終了する。

※イラストの番号は、操作手順番号です。

■通信チャンネルの設定

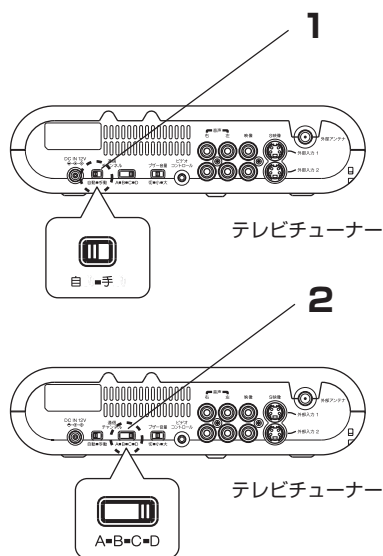
電波障害により受信状態が悪くなったときは、通信チャンネルを切り換えることで改善される場合があります。

その前に

受信状態が悪くなった場合には、テレビチューナー、防水モニターの場所を移動させてみてください。テレビチューナーを高い所に設置することで受信状態が改善される場合があります。

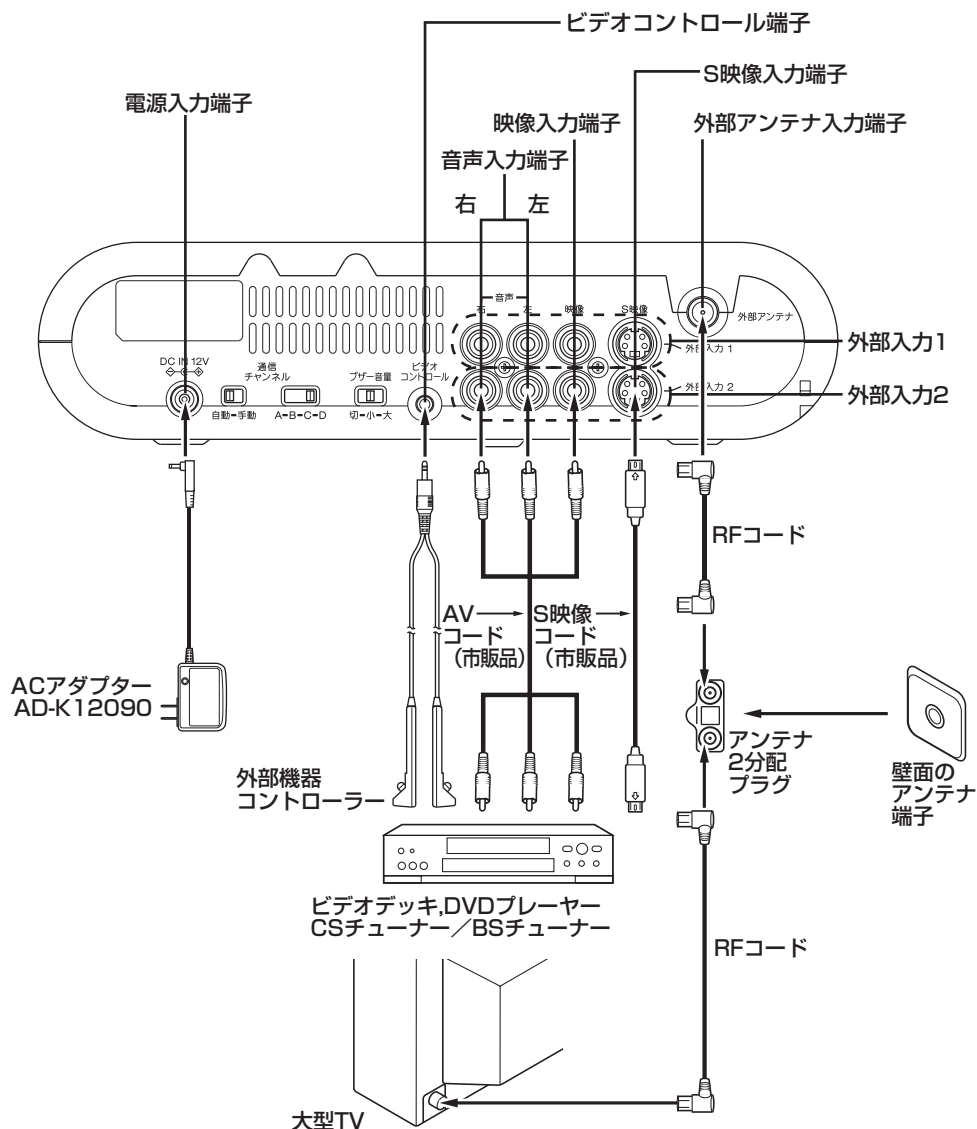
重 要

- 通信チャンネルを切り換えても、受信状態が良くならない場合があります。このような場合は、「通信チャンネル切換」スイッチを「自動」に戻して、テレビチューナーを受信状態が良くなる場所に移動してください。
- 通信チャンネルを切り換えると、画面は下記のような状態になりますが、故障ではありません。

  通常状態 → 画面が止まる → 真っ黒な画面になる → 通常状態

1 「通信チャンネル切換」スイッチを「手動」にする。

2 通信チャンネル(A〜D)を切り換えて受信状態の良いチャンネルを探す。

接続するには

■テレビチューナーの設置

- テレビチューナーは、付属のRFコードを使用して直接壁面のアンテナ端子へ接続してください。使われていない壁面のアンテナ端子がない場合には、付属のアンテナ2分配プラグをご使用ください。
- テレビチューナーをアンテナ2分配プラグに接続する場合には、出力1（通電）側ではなく、出力2側に接続してください。
- 映像入力とS映像入力を同時に接続した場合は、S映像入力が優先されます。（外部入力1，外部入力2）

本機でデジタル放送をご覧になるには

市販のデジタルチューナーを接続することによりデジタル放送をご覧頂けます。ただし、受信する画質は高精細にはなりません。なお、受信には、デジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。また、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル共用タイプのチューナーであれば、1台でそれぞれの放送をご覧頂けます。

■壁掛け用スタンドの設置

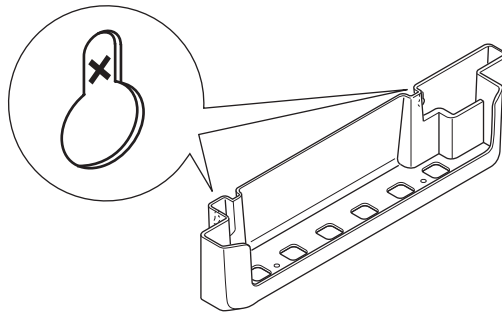
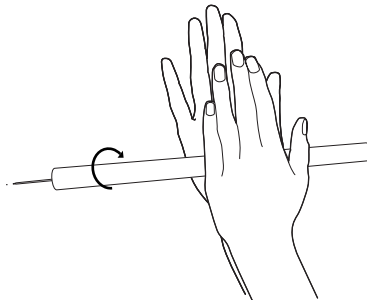
壁掛け用スタンドを設置するには

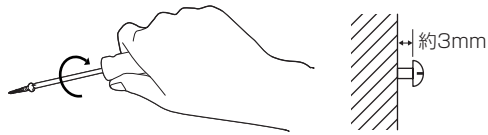
準備

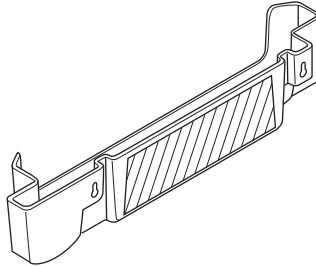
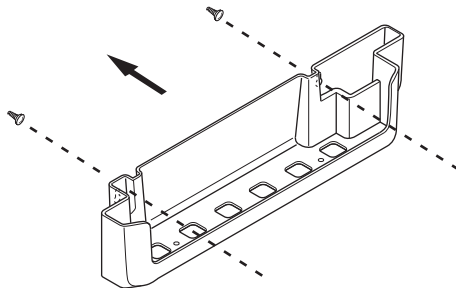
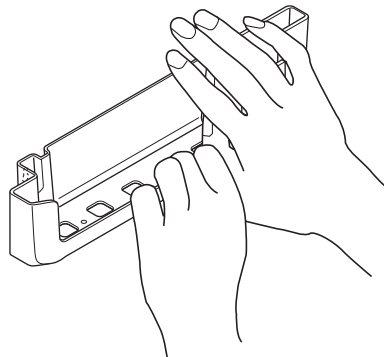
・取り付ける場所を決めて下さい。タイルなど堅い場所には取り付けることができません。
・取り付ける場所の汚れや油分を清掃し乾燥させてください。
・壁掛け用スタンドを固定する際には、あらかじめ本体の電源を入れて、設置する場所で受信できることを確認の上、取り付けてください。

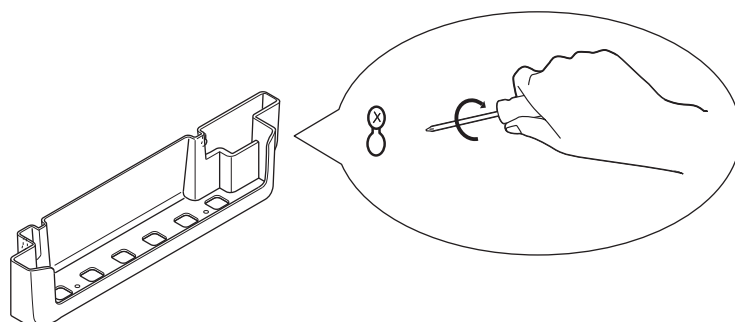
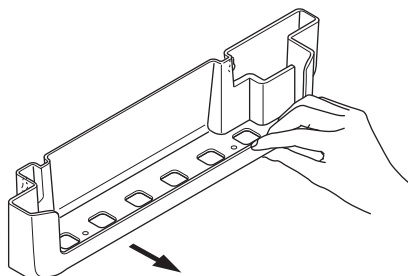
> 壁掛け用スタンドを設置する際は必ず付属のネジを使用して取り付けてください。（ネジを使用せず両面テープのみで固定されますと防水モニターの重さで両面テープが剥がれ、防水モニターが落下して、けがや故障の原因となります。）
> ネジによる壁掛け用スタンドの設置ができない場合は、背の低い安定した台などの上に防水モニターを置いてご使用ください。

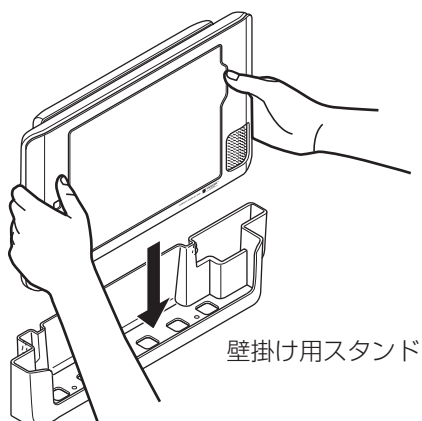
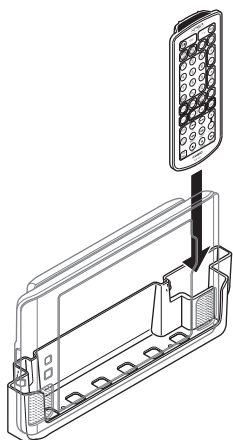
1 スタンドを取り付ける場所に目印を付ける。

・スタンドを、取り付ける場所にあてがって目印を付けてください。

2 径(φ) 1 mmのキリで下穴を開ける。

3　ネジを下穴に締め込む。

・ネジの頭が、3mmくらい浮くところで止めてください。

4　両面テープの裏紙をはがし、スタンドに貼り付ける。

・両面テープの裏紙は、片側のみはがしてください。

5　スタンドに貼り付けた両面テープの裏紙をはがし、スタンド本体をネジに引っ掛ける。

6　スタンドを貼り付ける場所に強く押しつける。

● 押しつけた後、強く接着させるために、そのまま一日放置してください。

7 ネジを締め込んでスタンドを固定します。

8 スタンド本体を軽く引っ張り、確実に固定されていることを確認します。定期的に取り付け状態を確認してください。

防水モニターを取り付けるには

1 防水モニターを静かに載せる。

2 防水リモコンをリモコンホルダーに挿す。

防水モニターを取りはずすには

1 防水モニターを静かに持ち上げる。

■充電スタンドの設置

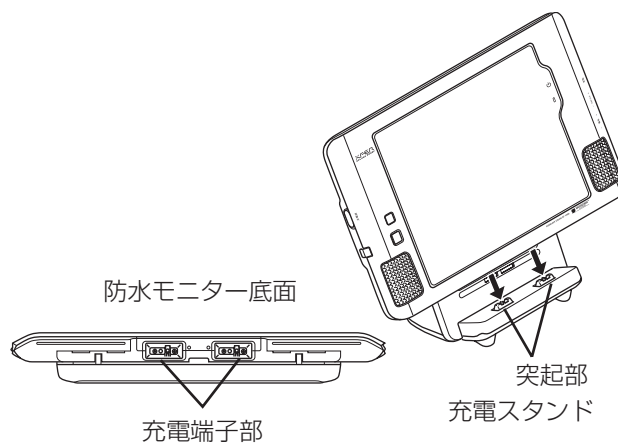
充電スタンドを設置するには

・ACアダプターを接続します。

＊ 詳しくは、「電源の接続について」をご参照ください。電源の接続は、すべてのコードを接続した後で行ってください。

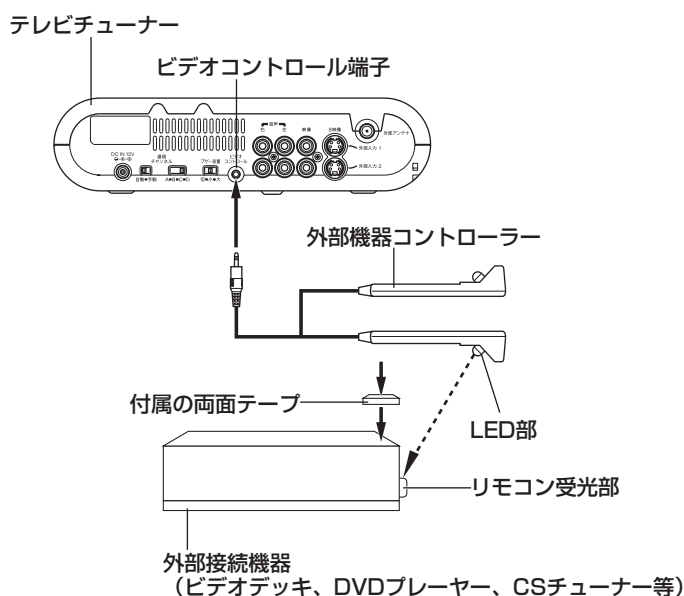
防水モニターを取り付けるには

1 防水モニターを下部の充電端子部と、充電スタンドの突起部を合わせる。

2 防水モニターを静かに載せる。

防水モニターを取りはずすには

1 防水モニターを静かに持ち上げる。

■外部機器コントローラーの設置

外部機器コントローラーを設置すると、本機の防水リモコンを使ってビデオデッキ、DVDプレーヤー、CSチューナー等を操作することができます。

1 外部機器コントローラーの丸いLED部分を、外部接続機器のリモコン受光部に向けて設置する。

＊ LED部分を防水モニターのリモコン受光部に向けないように設置してください。防水モニターと干渉して、動作しなくなる場合があります。

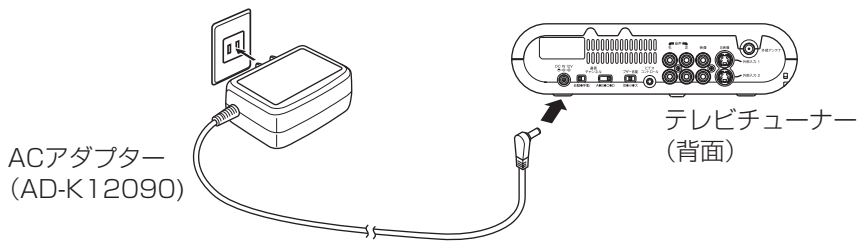
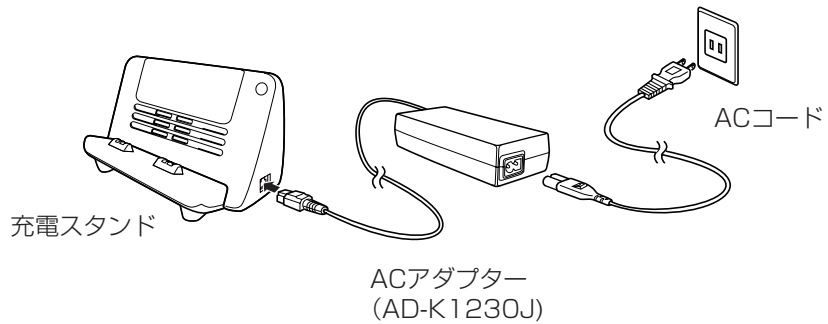
2 外部機器コントローラーの端子を、テレビチューナーのビデオコントロール端子に差し込む。

● ご使用になる外部機器によっては、本機の防水リモコンでは操作できない製品や、特定のボタンが使用できない製品があります。このような場合には、ご使用になる外部機器付属のリモコンを使用してください。

● DVDの中には、最初にメニュー画面が出るディスクがあります。このようなディスクをご使用になる場合には、使用するDVDプレーヤーの付属リモコンを使用してください。（DVDプレーヤーの付属リモコンは、防水モニターに向けても操作可能です。）

電源の接続について

- スタンドなどの設置作業や他のコードの接続がすべて終わってから、電源を接続してください。
- AC アダプターは、長時間ご使用になりますと熱を持ちますが、故障ではありません。

テレビチューナー

充電スタンド

充電するには

充電池は出荷時には十分には充電されておりません。初めてご使用になる時には必ず充電してください。
付属の充電スタンドを使用して、防水モニターを充電することができます。

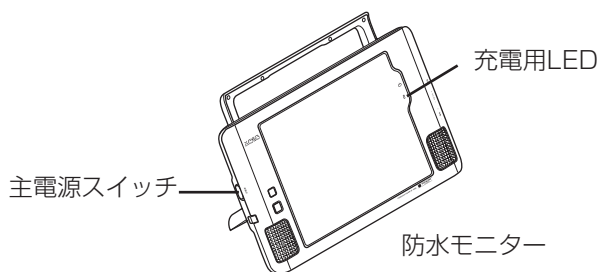
充電時間	約3.5時間

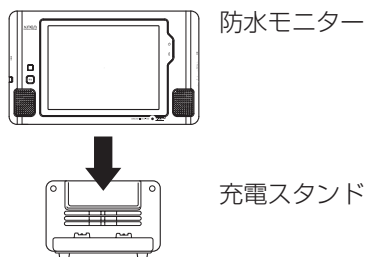
＊ 防水モニターの電源を切っている場合。（主電源スイッチは入れてください）

- 充電スタンドは防水ではありません。
- 電源用LEDの点滅は、内蔵電池の故障です。お買上げの販売店、またはカシオテクノ・サービスステーションに修理を依頼してください
- 電池持続時間が著しく短くなった場合は、内蔵電池の寿命です。カシオテクノ・サービスステーションにて内蔵電池の交換（有償）をいたします。内蔵電池は消耗品ですので保証期間内でも保証対象外となります。
- 充電スタンドおよび防水モニターの充電端子部を、ときどき乾いた綿棒などで掃除してください。

- 充電中もテレビを見ることができます。
- 本機を使用することができる温度範囲は0℃～40℃ですが、充電することができる温度範囲は、5℃～35℃です。
- 充電用LEDが点滅するのは、内蔵電池が熱くなっている場合です。内蔵電池の温度が下がるまで充電を休止します。内蔵電池の温度が下がると自動的に充電を再開します。休止が長いときは、防水モニターの電源ボタンを押して電源を切って充電スタンドに載せてください。

■充電スタンドを使用する

1 防水モニターの主電源スイッチを入れる。

2 充電スタンドに載せる。

充電中は、防水モニターの充電用LEDが点灯（緑色）します。充電が終了しますと充電用LEDが消灯します。

防水モニターの電池持続時間

輝度切換	
標準	節電
約3時間15分	約4時間

・ 十分に充電した防水モニターを、周囲温度25℃、適切な音量で使用した場合のめやすです。大きめの音量で使用したり、低温下では短くなります。

・ 輝度切換は、リモコンのボタンを使用してください。詳しくは、「便利な機能を使うには（輝度切換）」をご覧ください。

・ 電池持続時間は、内蔵電池の初期状態での数値です。電池の特性上、充電／放電を繰り返すと電池持続時間は短くなります。

■防水モニターの電池残量表示

・ 電池残量のめやすを表示します。

・ 電池残量が表示されるのは、以下のような場合です。表示時間は約 4 秒間です。

　a． 防水モニター（充電スタンドを使用していないとき）の電源を入れたとき。

　b． 防水モニターの電源が入っている状態で充電スタンドから防水モニターを外したとき

・ 電池残量は充電が必要になると、常時表示されます。このとき残量表示は赤くなり点滅します。充電スタンドに載せて内蔵電池を充電してください。

● 充電スタンドは防水ではありません。

内蔵電池について

本機は充電式電池を内蔵しております。電池持続時間が著しく短くなった場合は内蔵電池の寿命です。内蔵電池の交換に関しては必ずカシオテクノ・サービスステーションに依頼してください。有償にて内蔵電池の交換をいたします。内蔵電池は消耗品ですので保証期間内でも保証対象外となります。なお、お客様ご自身での交換は絶対になさらないでください。故障の原因となります。

・ 内蔵電池は、充電／放電を約300回繰り返すことができます（使用状況により異なります）。

製品を廃棄される場合

製品を廃棄する際は、内蔵電池を取り外してリサイクルしてください。

充電式電池の取扱いについて

●リサイクルのお願い

Li-ion

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

<最寄りのリサイクル協力店へ>

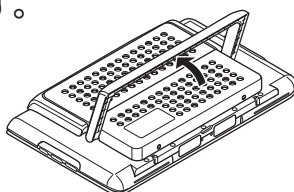
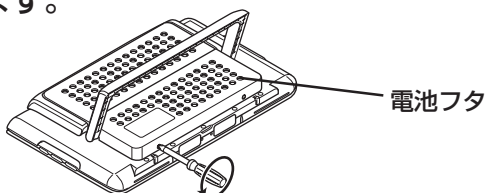
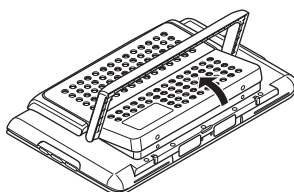
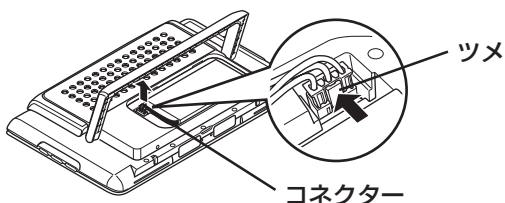
詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページをご参照ください。

• ホームページ　http://www.jbrc.com/

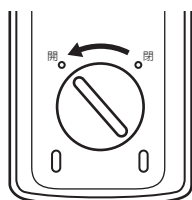
●使用済み充電式電池の取扱注意事項

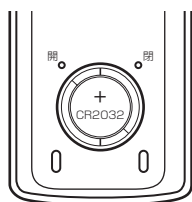
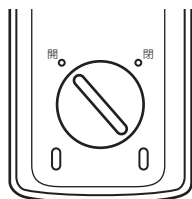
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

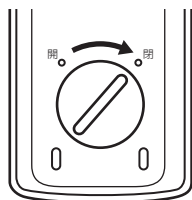
内蔵電池の取り出し方

1 スタンドを引き上げます。

2 電池フタのネジを外します。

3 電池フタを外します。

4 ツメを押しながらコネクターを外して、内蔵電池を取り出します。

防水リモコンの電池を入れるには

1 コイン(硬貨)を使って、電池フタを左に回して外す。

リモコン(背面)

2 古い電池を取り出して、新しい電池(CR2032)を入れる。

「+」記号が見えるように入れる。

3 電池フタを電池を押さえるように載せる。

4 コイン(硬貨)を使って、電池フタを右に回して閉める。

- 電池フタは右に止まるまで回してください。確実に閉まっていない場合には、防水リモコン内部に水が入り故障の原因となります。

- 防水リモコンの電池持続時間の目安は、ご使用の頻度によりますが、約 1 年です。

故障とお思いになる前に

症状	確認事項	解決方法	参照
何も映らず、音も出ない。	・ACアダプターは正しく接続されていますか？	・テレビチューナーなど、お使いの機器のACアダプターが正しく接続されているかを確認してください。	「接続するには」 (52ページ)
	・RFコードは正しく接続されていますか？	・テレビチューナーの外部アンテナ入力端子に、RFコードが正しく接続されているかを確認してください。	
	・外部機器をご使用の場合、AVコードは正しく接続されていますか？	・テレビチューナーの映像入力端子、音声入力端子に、正しくAVコードが接続されているかを確認してください。	
	・テレビチューナーと防水モニターの電源は入っていますか？ ・外部機器をご使用の場合、外部機器の電源は入っていますか？	・電源を入れてください。	「テレビを見るには」 (17ページ) 「ビデオ、DVD、CS放送等を見るには」 (19ページ)
	・入力の設定が、外部機器と合っていますか？	・防水リモコンのビデオ1ボタンまたはビデオ2ボタンを押してみてください。	
	・「圏外」の表示が出ていませんか？	・テレビチューナーの電源を入れてください。	「各部の名称」 (10ページ)
		・テレビチューナーを高い所に設置するか、防水モニターを移動してください。	―
		・本機と同じ周波数帯を使用する機器（無線LANなど）から離れた場所で使用してください。 ・電子レンジから離れた場所で使用してください。	「電波に関するご注意」 (7ページ)
映像は出るが、音が出ない。	・音声入力端子にAVコードが正しく接続されていますか？	・AVコードが正しく接続されているかを確認してください。	「接続するには」 (52ページ)
	・防水モニターにヘッドホンが接続されていませんか？	・ヘッドホンが接続されていると、防水モニターのスピーカーから音が出ません。ヘッドホンをはずしてください。	「各部の名称」 (10ページ)
	・「音量の表示」が赤くなっていませんか？	・ミュートを解除してください。	「ミュート」 (22ページ)
	・音量が「0」になっていませんか？	・音量調節ボタンで調整してください。	「各部の名称」 (10ページ)
	・「圏外」の表示が出ていませんか？	・テレビチューナーの電源を入れてください。	「各部の名称」 (10ページ)
		・テレビチューナーを高い所に設置するか、防水モニターを移動してください。	―
		・本機と同じ周波数帯を使用する機器（無線LANなど）から離れた場所で使用してください。	「電波に関するご注意」 (7ページ)

故障とお思いになる前に

症状	確認事項	解決方法	参照
	・「圏外」の表示が出ていませんか？	・電子レンジから離れた場所で使用してください。	「電波に関するご注意」(7ページ)
音は出るが、映像が出ない。	・映像入力端子にAVコードが正しく接続されていますか？	・AVコードが正しく接続されているかを確認してください。	「接続するには」(52ページ)
	・「明るさ」は正しく調整されていますか？	・見やすい画面になるように「明るさ」を調整してください。	「画質調整」(30ページ)
	・「圏外」の表示が出ていませんか？	・テレビチューナーの電源を入れてください。	「各部の名称」(10ページ)
		・テレビチューナーを高い所に設置するか、防水モニターを移動してください。	―
		・本機と同じ周波数帯を使用する機器(無線LANなど)から離れた場所で使用してください。 ・電子レンジから離れた場所で使用してください。	「電波に関するご注意」(7ページ)
	・上記以外	・カシオテクノ・サービスステーションにて蛍光管の交換が必要です。	「蛍光管について」(71ページ)
特定のチャンネルが映らない。	・放送局が、チャンネルに正しく設定されていますか？	・チャンネル手動設定を参照して、チャンネルを設定してください。	「チャンネル設定」(32ページ)
「圏外」と表示される。	・テレビチューナーの電源は入っていますか？	・テレビチューナーの電源を入れてください。	「各部の名称」(10ページ)
	・上記以外	・テレビチューナーを高い所に設置するか、防水モニターを移動してください。	―
		・本機と同じ周波数帯を使用する機器(無線LANなど)から離れた場所で使用してください。 ・電子レンジから離れた場所で使用してください。	「電波に関するご注意」(7ページ)
電源が勝手に切れる	・電池残量表示が点滅していませんか？	・防水モニターを充電してください。	「充電するには」(60ページ)
防水モニターの電源が入らない	・主電源スイッチは入っていますか？	・主電源スイッチを入れてください。	「各部の名称」(10ページ)
	・ACアダプターは正しく接続されていますか？	・ACアダプターが正しく接続されているかを確認してください。	「電源の接続について」(59ページ)
	・充電スタンドは正しく接続されていますか？	・充電スタンドが正しく接続されているかを確認してください。	「充電スタンドの設置」(57ページ)
	・防水モニターは充電されていますか？	・充電スタンドを使用して充電してください。	「充電するには」(60ページ)

症状	確認事項	解決方法	参照
映像が悪い、雑音が出る、ブロック状のノイズが出る。	・ビデオデッキや他のAV機器を経由してRFコードを接続していませんか？	・壁面のアンテナ端子とテレビチューナーの外部アンテナ入力端子を、直接、接続してください。	「接続するには」（52ページ）
	・放送局が、チャンネルに正しく設定されていますか？	・チャンネル手動設定を参照して、チャンネルを設定してください。	「チャンネル設定」（32ページ）
	・本機と同じ周波数帯を使用する機器（無線LANなど）や電子レンジが近くで動作していませんか？	・テレビチューナーを高い所に設置するか、防水モニターを移動してください。	ー
		・本機と同じ周波数帯を使用する機器（無線LANなど）から離れた場所で使用してください。 ・電子レンジから離れた場所で使用してください。	「電波に関するご注意」（7ページ）
		・通信チャンネルを切り換えることで改善される場合があります。	「通信チャンネルの設定」（51ページ）
		・本機はワイヤレス伝送を利用していますので、動きが速い映像では、映像が少し乱れることがありますが故障ではありません。	ー
	・上記以外	・音声切換ボタンを押して、「モノラル」にしてください。改善される場合があります。「モノラル」にした場合、二重音声放送は主音声のみ、ステレオ放送はL,Rチャンネルが混じり合って左右のスピーカーから流れます。	「音声切換」（24ページ）
色が付かない、色がおかしい。	・「色あい」や「色の濃さ」の調整が、ずれていませんか？	・「色あい」や「色の濃さ」を調整してください。	「画質調整」（30ページ）
画面が暗い。	・「明るさ」が「－」側に調整されていませんか？	・「明るさ」を正しく調整してください。	「画質調整」（30ページ）
	・輝度切換が「節電」になっていませんか？	・「標準」にしてください。	「輝度切換」（21ページ）
	・温度の低い所で使用していませんか？	・蛍光管が明るくなるまで、少しの間お待ちください。	「蛍光管について」（71ページ）
	・上記以外	・カシオテクノ・サービスステーションにて蛍光管の交換が必要です。	「蛍光管について」（71ページ）
画面がまぶしい。	・「明るさ」が「+」側に調整されていませんか？	・「明るさ」を正しく調整してください。	「画質調整」（30ページ）
	・輝度切換が「標準」になっていませんか？	・暗い場所でご使用になる場合には、「節電」にしてください。	「輝度切換」（21ページ）
画面にしま模様がでる。色が消える。	・他のテレビやパソコン、テレビゲーム、AV機器、無線局などが近くで動作していませんか？	・本機および外部アンテナを、左記の機器から離してください。または、それらの機器の電源を切ってください。	ー

症状	確認事項	解決方法	参照
画面に、はん点がでる。	・自動車やオートバイ、電車、掃除機、洗濯機、ヘアードライヤーなどが近くで動作していませんか？	・本機および外部アンテナを、左記の機器から離してください。または、近くで動作している機器の電源を切ってください。	ー
映像が二重、三重になる。	・ビルや倉庫などの大きな建物はありませんか？	・大きな建物からの反射電波が影響しています。外部アンテナの位置、高さ、向きを調整してください。（お近くの電気店にご相談ください。）	ー
雪が降ったような画面になる。	・RFコードが正しく接続されていますか？	・テレビチューナーの外部アンテナ入力端子に、正しくRFコードが接続されているかを確認してください。	「接続するには」（52ページ）
	・外部アンテナがこわれていませんか？	・新しいアンテナを設置してください。アンテナの設置については、お近くの電気店にご相談ください。	ー
時々、画面が止まったり、音声がとぎれる。	・本機と同じ周波数帯を使用する機器（無線LANなど）や電子レンジが近くで動作していませんか？	・テレビチューナーを高い所に設置するか、防水モニターを移動してください。	ー
		・本機と同じ周波数帯を使用する機器（無線LANなど）から離れた場所で使用してください。 ・電子レンジから離れた場所で使用してください。	「電波に関するご注意」（7ページ）
		・通信チャンネルの設定を切り換えることで改善される場合があります。	「通信チャンネルの設定」（51ページ）
	・防水モニターとテレビチューナー間で、人やペットが遮蔽することがありますか？	・テレビチューナーを人や物などに遮蔽されにくい程度の高い所に設置するか、防水モニターを移動してください。	「電波に関するご注意」（7ページ）
チャンネルが切り換わらない。ビデオ1または、ビデオ2に切り換わらない。テレビに切り換わらない。	・キー操作音切換の設定が「あり」の場合、ボタンを押したときに確認音は鳴りましたか？	・防水リモコンを防水モニターのリモコン受光部に向けて操作してください。	「各部の名称」（10ページ） 「キー操作音切換」（49ページ）
	・「圏外」の表示が出ていませんか？	・「圏外」と表示される。の項目をご確認ください。	「故障とお思いになる前に」（65ページ）
チャンネルが切り換わらない。ビデオ1または、ビデオ2に切り換わらない。テレビに切り換わらない。表示（チャンネル、ビデオ1、ビデオ2）が切り換わらない。	・「通信中」の表示が出ていましたか？	・チャンネルボタン、ビデオ1ボタン、ビデオ2ボタンを操作したときの電波状況が不安定な場合が考えられます。再度、ボタンを押せば正常に切り換わる場合があります。同様な症状となる場合には、テレビチューナーを高い場所に設置するか、防水モニターを移動させてください。	「電波に関するご注意」（7ページ）

症状	確認事項	解決方法	参照
防水モニターや防水リモコンのボタンを操作しても、反応がない。	・「圏外」の表示が出ていませんか？	・テレビチューナーの電源を入れてください。	「各部の名称」（10ページ）
		・テレビチューナーを高い所に設置するか、防水モニターを移動してください。	－
		・本機と同じ周波数帯を使用する機器（無線LANなど）から離れた場所で使用してください。 ・電子レンジから離れた場所で使用してください。	「電波に関するご注意」（7ページ）
	・防水リモコンの電池が消耗していませんか？	・電池を交換してください。	「防水リモコンの電池を入れるには」（64ページ）
	・防水リモコンの電池が上下逆に入っていませんか？	・電池を入れ直してください。	
	・防水モニターのリモコン受光部に、強い光があたっていませんか？	・防水モニターの位置や角度を変えて、強い光があたらないようにしてください。	－
	・DVD再生でメニュー(リスト)などが表示されていますか？	・一部のメディアで、メニュー(リスト)などの画面表示中は、防水リモコンでは操作できない項目が存在しますので、外部機器付属のリモコンを使用して操作してください。	－
	・外部機器とテレビチューナーが正しく接続されていますか？	・外部機器をご使用の場合、外部機器コントローラーのプラグをテレビチューナーへ正しく接続し、ＬＥＤ部分を外部機器のリモコン受光部に向けてください。 ・外部機器の操作を行う場合、防水リモコンの「ビデオ１」または「ビデオ２」のボタンを押して該当する機器の画面表示に切り換えてください。	「外部機器コントローラーの設置」（58ページ）
	・上記以外	・本機は、動作に時間がかかります。また、外部機器をご使用の場合、本機の動作時間に外部機器の動作時間がプラスされます。	「ご使用上の注意」（8ページ）
防水リモコンで外部機器を操作できない。	・外部機器コントローラーのＬＥＤを外部機器のリモコン受光部に向けていますか？	・外部機器コントローラーのＬＥＤを外部機器のリモコン受光部に向けてください。	「外部機器コントローラーの設置」（58ページ）
防水リモコンの反応が鈍くなった。防水リモコンの反応がない。	・防水リモコンの電池が消耗していませんか？	・電池を交換してください。	「防水リモコンの電池を入れるには」（64ページ）
リモコンが利かない（ビデオモード時）。	・外部機器コントローラーのＬＥＤが防水モニターのリモコン受光部に向いていませんか？	・外部機器コントローラーのＬＥＤを防水モニターのリモコン受光部に向けないようにしてください。	「外部機器コントローラーの設置」（58ページ）

故障とお思いになる前に

症状	確認事項	解決方法	参照
リモコンコードの設定ができない。	・自動設定から登録できない場合は、手動設定から登録し直しましたか？	・リモコンコードの設定を行うときは、防水モニターのリモコン受光部に外部機器のリモコンを近づけて、確認音が鳴るまで通常より長めにボタンを押してください。	「リモコンコードの設定」（37ページ）
キー操作音「あり」の設定にも関わらず、キー操作音が鳴らない。	・外部機器付属のリモコンを使用していませんか？	・キー操作音の「あり」「なし」の設定は、防水リモコンのみ有効となりますので、外部機器付属のリモコンには対応しておりません。 ・防水リモコンについても操作できないボタンを押した場合、キー操作音は鳴りません。	「キー操作音切換」（49ページ）
呼出音が鳴らない。	・テレビチューナーのブザー音量スイッチが「切」になっていませんか？	・テレビチューナーのブザー音量スイッチを「小」か「大」にしてください。	「呼び出しブザー」（21ページ）
防水リモコンのボタンがへこんでいる。	－	・防水リモコンの電池フタを外してください。ボタンが元に戻ったら電池フタを再び閉めてください。	「防水リモコンの電池を入れるには」（64ページ）
防水モニターや充電スタンドが熱い。	－	・使用中や充電中は熱くなりますが、故障ではありません。	－
防水モニターを充電スタンドに載せても充電用ＬＥＤがつかない。	・防水モニターは充電スタンドに正しく載っていますか？	・防水モニターを充電スタンドに載せ直してください。	「充電スタンドの設置」（57ページ）
	・充電スタンドにACアダプターは正しく接続されていますか？	・充電スタンドにACアダプターを正しく接続してください。	「電源の接続について」（59ページ）
	・防水モニターの主電源スイッチは入っていますか？	・防水モニターの主電源スイッチを入れてください。	「充電するには」（60ページ）
	・充電スタンドや防水モニターの充電端子が汚れていませんか？	・充電スタンドや防水モニターの充電端子を、乾いた綿棒などで掃除してください。	
電源用ＬＥＤが点滅する。	－	・内蔵電池が劣化しています。部品交換のため、カシオテクノ・サービスステーションに連絡してください。	「保証・アフターサービスについて」（73ページ）
防水モニターの電池持続時間が短い。	・防水モニターは正しく充電されていますか？	・電池持続時間が著しく短い場合は内蔵電池の寿命です。カシオテクノ・サービスステーションにて交換してください。（有償）	「保証・アフターサービスについて」（73ページ）

蛍光管について

1. バックライトに使用されている蛍光管には寿命があります。暗くなったりチラつく場合は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。有償にてお取り換えします。蛍光管の寿命は約30,000時間です。

2. 低温でご使用の場合は、バックライトが点灯するまでに時間がかかったり、赤味を帯びることがありますが、故障ではありません。しばらくすると正常に戻ります。

製品仕様

製品名 XF-1000
種類 .... デジタル無線電送システム搭載　防水液晶テレビ

防水モニター(XF-1000M)

表示素子 .... 高解像度カラーLCD [*1]
駆動方式 .... TFTアクティブマトリックス方式
画面寸法 .... 幅 21.1　高さ 15.8　対角 26.4 cm (10V型)[*2]
画素数 307,200画素
ドット数 .... 640(水平)×3(RGB)×480(垂直)ドット
使用光源 .... 内部光(バックライト)　高輝度蛍光管
音声方式 .... ステレオ、音声多重、モノラル
スピーカー .... 4.0cm　丸形 2 個
接続端子 .... ヘッドホン端子　φ3.5ステレオミニタイプ
消費電力 .... 約39W(見ながら充電時)
待機電力 約0.5W
使用電源 .... 充電池　専用充電池(内蔵)　電池品名:リチウムイオン充電池　電池型番:NP-K740
AC：専用充電スタンド　OS-263使用
防水機能 JIS保護等級6耐水形相当
動作温度 .... 0℃〜+40℃
充電温度 .... 5℃〜+35℃
保存温度 .... −20℃〜+60℃
外形寸法 .... 幅36.8×奥行5.0×高さ21.7 cm
質量 約2,450g

*1　液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

*2　テレビのV型(42V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

製品仕様

テレビチューナー(XF-101TS)

受信チャンネル……VHF 1～12チャンネル　UHF 13～62チャンネル
CATV　C13～C38チャンネル
プリセット数……24局（内ダイレクト選局12局）
変調方式……DS-SS (IEEE802.11b準拠)
搬送周波数帯……2.4GHz帯
接続端子……外部電源端子　DC-IN 12V
アンテナ入力端子　F型
S映像入力端子（2系統）
映像入力端子（2系統）　RCAジャック（黄）
音声入力端子（2系統）　RCAジャック　L（白）　R（赤）
ビデオコントロール端子　φ3.5ミニタイプ
消費電力……約5.6W
使用電源……AC 100V　専用ACアダプター　AD-K12090
動作温度……0℃～+40℃
保存温度……−20℃～+60℃
外形寸法……幅24.0×奥行10.9×高さ6.2 cm　（突起物を除く、ゴム足は含む）
質量……約430g

充電スタンド(OS-263)

接続端子……外部電源端子　DC-IN 12V
防水モニター(XF-1000M)　専用端子
定格電流値……IN　4.0A
OUT 3.8A
使用電源……AC 100V　専用ACアダプター　AD-K1230J
動作温度……0℃～+40℃
充電温度……5℃～+35℃
保存温度……−20℃～+60℃
外形寸法……幅21.0×奥行11.9×高さ11.6 cm　（ゴム足を含む）
質量……約330g

防水リモコン(WR-623)

使用電源……リチウム電池　(CR2032)
防水機能……JIS保護等級 6 耐水形相当
動作温度……0℃～+40℃
保存温度……−20℃～+60℃
外形寸法……幅5.9×奥行14.8×高さ1.3 cm
質量……約52g